

【科目名】	心理学	基礎分野(2単位)	【講師名】	佐藤 宏平			
【講義期間】	1年次前期 令和7年4月10日～		【対象学生 第 1学年	理学療法学科 65名 作業療法学科 25名			
【時間数】	30時間（ 2時間 15回 ほか期末試験） 木曜日		【時間帯】	14：40 ～ 16：10			
授業内容・目標	心理学の定義、歴史、基礎的概念について、体験的な学習を通じて学んでいきます。						
前提知識	自分の心や他者の心についてこれまで考えたり、感じたりした経験および知識。また心に関する興味・関心。						
【実施形態】	講義（○）	演習（○）	実習（ ）				
到達目標	心理学の歴史、基礎的概念、人名、基礎的な概念について説明することが出来る。						
成績評価基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)	30	50	0	20	0	0
	実施時期	授業全体	最終回		適宜		
	補足						
	関心・意欲	○	○		○		
	知識・理解		○		○		
	思考・推論		○		○		
	実践・表現	○			○		

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
4月10日	1	心理学とは？	心理学の定義、心を科学するとは？、さまざまな心理学、ほか	佐藤
4月17日	2	心理学の歴史	心理学の歴史、実験心理学の父"ウィルヘルム・ヴント"、行動主義心理学、ゲシュタルト心理学、精神分析学、ほか	佐藤
5月1日	3	感覚、知覚の心理学1	感覚、知覚、適刺激、ウェーバー・フェヒナーの法則、刺激閾、弁別閾、閾下知覚、ほか	佐藤
5月8日	4	感覚、知覚の心理学2	ゲシュタルト心理学、図地反転図形、錯視、選択的注意、ニュールック心理学、ほか	佐藤
5月15日	5	記憶と学習の心理学1	短期記憶、長期記憶、ワーキングメモリー、リハーサル、マジカル・ナンバー、記憶の干渉、ほか	佐藤
5月22日	6	記憶と学習の心理学2	レスポナント条件付け、オペラント条件付け、強化スケジュール、般化、観察学習、ほか	佐藤
5月29日	7	脳と心の心理学1	大脳、小脳、中脳、ニューロン、シナプス、ほか	佐藤
6月5日	8	脳と心の心理学2	脳の構造とその機能、向精神薬のメカニズム、ほか	佐藤
6月12日	9	性格と心理アセスメント1	知能、パーソナリティ、質問紙法、投映法、作業検査法、ほか	佐藤
6月19日	10	性格と心理アセスメント2	YG、MMPI、TEG、ほか	佐藤
6月26日	11	性格と心理アセスメント3	SCT、ロールシャッハテスト、バウムテスト、TAT、P-Fスタディ、認知症検査、ほか	佐藤
7月3日	12	対人関係の心理学1	セルフハンディキャッピング、自己呈示、自己開示、コミュニケーション、対人魅力、ほか	佐藤
7月10日	13	対人関係の心理学2	リーダーシップ、社会的促進、社会的手抜き、アイヒマン実験、同調、少数者影響、ほか	佐藤
7月17日	14	発達と教育の心理学1	発達の臨界期、生理的早産、ファンツの選好注視、ほか	佐藤
7月24日	15	発達と教育の心理学2	アタッチメント、ハーロウのアカゲザルの実験、ストレンジシチュエーション、ピアジェの認知的発達段階説、ほか	佐藤
教科書 参考書	心理学のエッセンス 東北文教大学心理学研究会編 日本評論社			
授業に必要な物	上記テキスト、初回配布する講義資料、筆記用具、調べ学習のためのスマートフォン			
備考				

【科目名】	法学	【講師名】	渡辺信英 長谷川雄一 米谷光正				
【講義期間】	1 年次後期	【対象学生】	第1学年 理学療法学科 / 作業療法学科				
【時間数】	30時間 (2時間 15回)	【時間帯】	14:40 ~16:10				
授業 内容・目標	戦争、敗戦、ポツダム宣言をへて日本国憲法が成立した。その日本国憲法は国の基本法であり、国民として理解してほしい。また、医療職を目指す学生にとって重要と思われる基本的人権、人間の尊厳、生存権、幸福追求権、さらに医療と法に関係について、オムニバスで行う。						
前提知識							
【実施形態】	講義(○)	演習()	実習()				
到達目標	①ポツダム宣言受諾の背景を説明することが出来る。②医療と法の関係を説明することが出来る。③生存権の判例の法的性質を説明することば出来る。④基本的人権を説明することが出来る。⑤人間の尊厳の意味と法制度を説明することが出来る。⑥幸福追求権を説明することが出来る。						
成績評価 基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)		80%			20%	
	実施時期		コースの終了後				
	補足						
	関心・意欲						
	知識・理解						
	思考・推論						
	実践・表現						

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
10月1日	1	オリエンテーション	憲法を講義する意味。コースの核になる講義、グループワークなど説明する。	渡辺
10月8日	2	人権① 憲法の意義と立憲主義	個人の尊厳と福祉、人権、立憲主義の理解する。	米谷
10月15日	3	人権② 基本的人権総論(1)	基本的人権について学説と判例を理解する。	米谷
10月22日	4	人権③基本的人権総論(2)	基本的人権の制限について検討する	米谷
10月29日	5	幸福追求権	幸福追求権について学説と判例について理解する。	米谷
11月5日	6	平等権	法の下における平等について学説と判例を検討する。	米谷
11月12日	7	表現の自由	様々な表現の自由についての権利とその判例について理解する。	米谷
11月19日	8	映像で学ぶ敗戦の道①	悲惨と虚無①一戦場における日本人	長谷川
11月26日	9	映像で学ぶ敗戦の道②	悲惨と虚無②一焦土の風景	長谷川
12月3日	10	映像で学ぶ敗戦の道③	空虚なテクノロジー	長谷川
12月10日	11	映像で学ぶ敗戦の道④	ポツダム宣言受諾と日本封じ込め	長谷川
12月17日	12	生存権	生存権の法的性質、プログラブ規定説・法的権利説、判例を習得する。	渡辺
12月24日	13	法と倫理(1)	尊厳死(安楽死)と延命治療について個人ワーク・グループワークで検討する。	渡辺
1月7日	14	法と倫理(2)	がん告知について個人ワーク・グループワークで考える。	渡辺
1月14日	15	法と倫理(3)	他者危害原則と喫煙の自由について個人ワーク・グループワークで検討する	渡辺
教科書 参考書	「日本国憲法」(人権と福祉) 渡辺 信英 編 2022			
授業に必要な物				
備考				

【科目名】	臨床美術	基礎分野(2単位)	【講師名】 小野寺 良枝				
【講義期間】	1年次前期 令和7年4月7日～		【対象学生 第 1学年 理学療法学科 65名 作業療法学科 25名				
【時間数】	30時間(2時間 15回 ほかに期末試験) 月曜日		【時間帯】 10 : 40 ～ 12 : 10				
授業内容・目標	1. 脳の活性化を目的とした芸術療法である臨床美術について学ぶ。 2. 臨床美術におけるコミュニケーション理論を学び、異年齢間におけるコミュニケーションについての知識を得る。 3. 制作を通して自身の心の解放を図る。						
前提知識	無し						
【実施形態】	講義(○) 演習(○) 実習()						
到達目標	他領域の療法を知る						
成績評価基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)	50			50		
	実施時期	平時			平時		
	補足						
	関心・意欲	○			○		
	知識・理解	○			○		
	思考・推論				○		
	実践・表現	○					

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
4月14日	1	ガイダンス	臨床美術の基礎知識(1) 制作体験「色と線で遊ぼう」	小野寺
4月28日	2	臨床美術アートプログラム制作	臨床美術の基礎知識(2) 制作体験「りんごの量感画」	小野寺
5月12日	3	臨床美術基幹	臨床美術の沿革(効果とその実際) 右脳モードで描く絵と左脳モードで描く絵の違いについて	小野寺
5月19日	4	臨床美術アートプログラム制作	臨床美術の基礎知識(3) 五感を使って制作「色のアラベスク」(ドリップングの面白さに気づく)	小野寺
5月26日	5	臨床美術アートプログラム制作	臨床美術の基礎知識(4) 五感を使って立体制作「立体のかぼちゃ」①	小野寺
6月2日	6	臨床美術アートプログラム制作	臨床美術の基礎知識(5) 五感を使って立体制作「立体のかぼちゃ」② / 課題(私の感性地図)	小野寺
6月9日	7	アートコミュニケーション論(1)	言語によるコミュニケーション / 課題レポート書式説明	小野寺
6月16日	8	アートコミュニケーション論(2)	非言語によるコミュニケーション 制作「二人で描く」	小野寺
6月23日	9	アートコミュニケーション論(3)	異年齢間とのコミュニケーション(臨床美術の実際) 高齢者との関わり・子どもとの関わり・障がい者との関わりについて	小野寺
6月30日	10	臨床美術アートプログラム制作	臨床美術の基礎知識(6) 身近なものを使って制作「鉛筆のアナログ画」	小野寺
7月7日	11	臨床美術アートプログラム制作	臨床美術の基礎知識(7) アナログ的感覚で制作「色面とマチエール」 / 課題レポートについて	小野寺
7月14日	12	臨床美術アートプログラム制作	臨床美術の基礎知識(8) 土粘土による制作「土偶を作る」	小野寺
7月28日	13	存在論的人間観	臨床美術の根幹にある考え方 「いてくれてありがとう」を言えますか？	関根一夫
8月4日	14	臨床美術アートプログラム制作	臨床美術の基礎知識(9) 観察の大切さを感じて制作「なすの量感画」 / 課題レポート提出日	小野寺
8月25日	15	臨床美術アートプログラム制作と総括	総括 端材や身近にある材料を用いて、自身で制作を試みる	小野寺
教科書 参考書	改訂新版臨床美術認知症治療としてのアートセラピー 金子健二編 日本地域社会研究所			
授業に必要な物	はさみ・スティックのり・ウエットティッシュ・ティッシュ・割りばしペン(割りばしの先を鉛筆削りで削ったもの) * 毎回の持参をお願いします。			
備考	講義内容は変更する場合があります			

【科目名】	社会福祉学	基礎分野2単位	【講師名】	上村 裕樹			
【講義期間】	1年次前期 令和7年4月11日～		【対象学生	第 1学年 理学療法学科 65 名 作業療法学科25名			
【時間数】	30時間(2時間15回 ほかに期末試験)	金曜日	【時間帯】	9:00 ～ 10 :30			
授業 内容・目標	社会福祉のこれまでの歴史的展開を踏まえ、その理念や原理、各種法制度の成立の状況やその変遷を知り、社会福祉サービスの成立とその役割について理解する。また、その対象についても同様に社会的状況やその背景、各対象へのサービスの具体的な内容についても理解していくことを通して、理論の上に立った実践の展開について学ぶ。						
前提知識	社会福祉サービスに関わるだけでなく、現在の私達の暮らしにおける生活上の課題や取り巻く環境についても興味や関心をもっておくことが望ましい。そしてその対象は自分を含む世代に関わる身近なものだけに限るのではなく、社会の状況や出来事に関して広く多くの事象を知ろうとする姿勢を期待する。						
【実施形態】	講義(○)	演習()	実習()				
到達目標	①社会福祉の歴史的展開や法制度などについて理解し、適切に説明・報告することができる。②社会福祉の理念や原理を理解し、現在の社会福祉サービスについて、説明することができる。③社会福祉の対象を理解し、その対象者の背景や状況を踏まえた上で、対象者が抱える課題とその解決策について説明・報告することができる。						
成績評価 基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)	20	40		30	10	
	実施時期	適宜各回	終了時		適宜各回	適宜各回	
	補足	ワーク等への取り組み	学びの要点理解		授業内容理解に関して	ワーク等の取り組み	
	関心・意欲	○	○		○		
	知識・理解		○		○	○	
	思考・推論	○	○		○	○	
	実践・表現	○	○		○	○	

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
4/11	1	イントロダクション・現代生活と社会福祉	身近にある社会福祉(グループワーク)	上村
4/18	2	現在の社会状況	人口動態に関する理解	上村
5/2	3	現在社会の課題	社会課題への解決にむけた協同アプローチ(グループワーク)	上村
5/9	4	現在社会の課題	社会課題への解決にむけた協同アプローチ(グループワーク)	上村
5/16	5	社会福祉の役割と必要性	現在社会における社会福祉の役割とその必要性	上村
5/23	6	社会福祉の歴史	日本の社会福祉の歴史	上村
5/30	7	社会福祉の法律と制度	日本における社会福祉に関わる法律と制度の仕組み	上村
6/6	8	社会福祉従事者	社会福祉に関わる専門職	上村
6/13	9	社会福祉における相談援助	個別的相談援助の理解	上村
6/20	10	社会福祉における相談援助	個別的相談援助の実践	上村
6/27	11	利用者主権・利用者保護の仕組み	権利の主体、人権の尊重	上村
7/4	12	児童家庭福祉	こどもの生活と福祉の実際	上村
7/11	13	障害者福祉	障害者の生活と福祉の実際	上村
7/18	14	高齢者福祉	高齢者の生活と福祉の実際	上村
7/25	15	まとめ・社会福祉のこれから	これからの社会福祉の在り方と方向性	上村
教科書 参考書	社会福祉 (ミネルヴァ書房)			
授業に必要な物	必要資料等は適宜指示します。Googleフォーム等を活用した課題実施もありますので、インターネットに接続出来る機器をご準備ください(PC/タブレット/スマホ等)			
備考	協働学習を取り入れているため、協同的な学び合いを期待します。積極的に話し合い協力し合う姿勢にて授業へ臨んでください。質問等は適宜回答いたしますので、お問い合わせ下さい。			

【科目名】	社会科学論	基礎分野(1単位)	【講師名】	阿部 正孝			
【講義期間】	1年次前期 令和7年4月9日～		【対象学生	第 1学年 理学療法学科 65名 作業療法学科 25名			
【時間数】	15時間 (2時間 7.5回 ほか期末試験) 水曜日		【時間帯】	10 : 40 ～ 12 : 10			
授業内容・目標	社会事象を科学的見地で理解する						
前提知識	リハビリテーションの簡単な理解。社会情勢の理解。						
【実施形態】	講義()	演習()	実習()				
到達目標	人に「援助する」とはどういうことかを説明できるようになる。						
成績評価基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)		75%		25%		
	実施時期						
	補足						
	関心・意欲						
	知識・理解						
	思考・推論						
	実践・表現						

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
4月9日	1	オリエンテーション	授業概要の説明	阿部
4月16日	2	リハビリテーションを理解する。	リハビリテーションの歴史を学びます。	阿部
4月30日	3	心と人間関係を科学する。	今日の人間関係の在り方を学びます。	阿部
5月7日	4	障害の実際を学びます。	障害とは何か？その視点を学びます。	阿部
5月14日	5	ストレスとは何かを科学する。	ストレス反応を理解します。	阿部
5月21日	6	人権を科学する	人権を学びながら、「自由」と「主体性」について学びます。	阿部
5月28日	7	精神発達問題を科学する	社会問題としての発達問題の症状を理解します。	阿部
6月4日	8	専門性とは何かを科学する。	療法士としての専門性を科学します。	阿部
	9			
	10			
	11			
	12			
	13			
	14			
	15			
教科書 参考書	なし			
授業に必要な物				
備考				

【科目名】	医療倫理	【講師名】	渡辺 信英				
【講義期間】	1 年次前期	【対象学生	第 1 学年 理学療法学科 名 作業療法学科 名				
【時間数】	時間 (時間 回)	【時間帯】	: ~ : (他時間割参照)				
授業 内容・目標	医療倫理は、臨床の場面で倫理的に考慮・判断する場面が多くあり、医療専門職にとって、その理解は重要である。						
前提知識							
【実施形態】	講義(○)	演習()	実習()				
到達目標	①人間の尊厳について理解する。②理学・作業療法士の倫理観を理解する。③医療4原則に基づいて理解・討議することができる。						
成績評価 基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)	10%	80%			10%	
	実施時期						
	補足						
	関心・意欲						
	知識・理解						
	思考・推論						
	実践・表現						

授業計画				
1付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
4月9日	1	教養、人間の尊厳	①、SOL(生命の尊厳) GOL(生活の質) ② 徳倫理 ③、教養についてグループ・ワーク	渡辺
4月16日	2	絶対的無輸血と相対的無輸血	東大医科研病院事件について考える。	米谷
4月30日	3	①功利主義 ②二重結果論 ③一貫性の要求	「ソフィアの選択」、「トロッコ問題」、「医療問題」についてグループ・ワークを含め考える。	渡辺
5月7日	4	ヒポクラテスの誓い	①ヒポクラテスの9個の誓い	渡辺
5月14日	5	倫理4原則(自立尊重原則・善行原則・無危害原則・公正原則)	①タスキギー事件 ②ニュルンベルク裁判 ③ベルモントレポート	渡辺
5月21日	6	インフォームドコンセントと自己決定	①インフォームドコンセントと判例 ②パターナリズムと自己決定	渡辺
5月28日	7	守秘義務・個人情報保護	①プライバシー権 ②タラソフ事件3守秘義務と最善の利益	渡辺
5月31日	8	①医療広告ガイドライン ②全体のまとめ	①誇大広告の禁止 ②全体の理解	渡辺
	9			
	10			
	11			
	12			
	13			
	14			
	15			
教科書 参考書				
授業に必要な物				
備考				

【科目名】	情報処理	基礎分野(1単位)	【講師名】 吉田 翔太(作業療法士): 医療機関にて14年実務経験				
【講義期間】	1年次前期		【対象学生】 第1学年 作業療法学科				
【時間数】	30時間 (2時間 15回)		【時間帯】 : ~ : (他時間割参照)				
授業 内容・目標	文献検索やそれをまとめる実践を通じ、科学的に物事を考える基礎力の習得						
前提知識							
【実施形態】	講義(○) 演習(○) 実習()						
到達目標	疑問に思ったことを文献検索などを通して調べ、調べた内容をまとめ、PowerPointを使ったプレゼンテーションができるようになる						
成績評価 基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)	50			25	25	
	実施時期						
	補足						
	関心・意欲	○				○	
	知識・理解	○			○		
	思考・推論	○			○	○	
	実践・表現	○			○		

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
4月7日	1	施設調べ(1)	デイサービス・デイケア・介護老人保健施設について知る・調べる	吉田
4月15日	2	施設調べ(2)	デイサービス・デイケア・介護老人保健施設について知る・調べる	吉田
4月28日	3	インターネットリテラシー メールマナー	インターネットリテラシーについて、著作権、個人情報保護 社会人としてのメールマナーの基礎・実践	吉田
5月13日	4	文献検索・文献から情報を得る(1)	文献とはなにか、CiNii、PubMedの使い方、文献検索	吉田
5月19日	5	文献検索・文献から情報を得る(2)	論文を読んでみる	吉田
5月27日	6	文献検索・文献から情報を得る(3)	PowerPointで文献内容をまとめる	吉田
6月2日	7	文献検索・文献から情報を得る(4)	PowerPointで文献内容をまとめる	吉田
6月13日	8	文献検索・文献から情報を得る(5)	グループ発表	吉田
6月17日	9	事象を科学的に考える(1)	テーマに沿って文献を検索する①	吉田
6月25日	10	事象を科学的に考える(2)	テーマに沿って文献を検索する②	吉田
7月1日	11	事象を科学的に考える(3)	調べた論文を用いテーマを科学的に検証・考察する①	吉田
7月9日	12	事象を科学的に考える(4)	調べた論文を用いテーマを科学的に検証・考察する②	吉田
7月11日	13	事象を科学的に考える(5)	調べた論文を用いテーマを科学的に検証・考察する③	吉田
7月18日	14	事象を科学的に考える(6)	グループ発表	吉田
7月28日	15	まとめ	文献検索のまとめ	吉田
教科書 参考書				
授業に必要な物	個人用PC。他は必要に応じて連絡。準備担当者をはじめ、各自事前に確認をすること。			
備考	時間を守る、連絡を怠らないなど、基本的な振る舞いの上に技術が成り立つことをふまえ、取り組むこと。			

【科目名】	医学英語	基礎分野(1単位)	【講師名】 沢田泉紀(作業療法士):医療機関にて12年実務経験				
【講義期間】	1年次後期		【対象学生】 第1学年 作業療法学科				
【時間数】	15時間 (2時間 7.5回)		【時間帯】 13:00 ~ 14:30 (他時間割参照)				
授業 内容・目標	医療において、臨床や文献を理解する上で、高頻度で使用する専門用語についての英単語を覚え、その意味を理解する。						
前提知識	英語の基本(文字の読み書き)が出来ている。 英語、または横文字に慣れている。						
【実施形態】	講義(○)	演習()	実習()				
到達目標	臨床、文献で使用する専門用語について読み書きが出来る。 英語で表記された用語の意味を理解し、説明出来る。						
成績評価 基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)		60				40
	実施時期		当科目終了時				平時
	補足		日本語⇄英語の変換				各回確認プリント
	関心・意欲	○					○
	知識・理解		○				○
	思考・推論		○				○
	実践・表現	○					○

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
	1	基礎用語①	身体部位、基本姿勢、運動方向	沢田
	2	基礎用語②	体位、力学、動作、補装具、その他の用語	沢田
	3	職種・ADL関連の用語	リハ職と関連の強い医療・福祉職、FIM、BI	沢田
	4	解剖・生理・運動学における関連用語①	骨格系	沢田
	5	解剖・生理・運動学における関連用語②	上肢・手指の筋	沢田
	6	解剖・生理・運動学における関連用語③	下肢の筋	沢田
	7	中枢領域、整形外科領域における関連用語	脳血管障害、パーキンソン病、骨折、RA、靱帯損傷、脊髄損傷	沢田
	8	内部障害、検査における関連用語	心疾患、呼吸器疾患、代謝性疾患、血圧、脈拍、脳画像、血液データ	沢田
	9	まとめと評価	作業療法士として必要な専門用語の日本語⇄英語の変換	沢田
教科書 参考書	各单元ごとにプリント配布			
授業に必要な物	PC、プロジェクターを準備する。			
備考	わからない用語等があった場合は、可能な限り質問し、理解しながら進めていくよう心掛ける。確認プリントにて、理解度を確認する。			

【科目名】	精神保健学	専門分野(2単位)	【講師名】	阿部 正孝			
【講義期間】	1年次後期 令和7年10月1日～		【対象学生	第 1学年 理学療法学科 65名 作業療法学科 25名			
【時間数】	30時間(2時間 15回)ほか期末試験 水曜日		【時間帯】	13 : 00 ～ 14 : 30			
授業 内容・目標	精神保健の個別課題を理解し、リハビリテーションの役割を知る						
前提知識	心の健康とは何か？を学んでほしい。						
【実施形態】	講義() 演習() 実習()						
到達目標	心の健康について説明できるようになる。						
成績評価 基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)		80%		10%	10%	
	実施時期						
	補足						
	関心・意欲						
	知識・理解						
	思考・推論						
	実践・表現						

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
10/1	1	今日の精神保健1	健康観を考える	阿部
10/8	2	心の健康について	ストレスを中心に心の動きを知る。	阿部
10/15	3	地域精神保健活動について	ノーマライゼーションを目指す地域活動を学ぶ	阿部
10/22	4	家族の課題とアプローチ	家族の変遷	阿部
10/29	5	学校の課題とアプローチ	学校問題の歴史を学ぶ。	阿部
11/5	6	勤労者の課題とアプローチ	職場での健康維持について学ぶ。	阿部
11/12	7	精神医療の現況	心の健康が生活に与える影響を学ぶ。	阿部
11/19	8	尊厳について	自己確認について	阿部
11/26	9	嗜癖問題	アルコール依存など嗜癖問題を考えます。	阿部
12/3	10	認知症	認知症の症状と生活を学ぶ。	阿部
12/10	11	乳幼児期・学童期のライフサイクル	ライフサイクルの意義を学ぶ。	阿部
12/17	12	思春期・青年期のライフサイクル	ライフサイクルの意義を学ぶ。	阿部
12/24	13	青年期・老人期のライフサイクル	ライフサイクルの意義を学ぶ。	阿部
1/14	14	「こだわり」「偏り」について学ぶ。	精神発達問題を考えます。	阿部
1/21	15	振り返り	授業の総括を行い、今後の自分に役立つものを考えます。	阿部
教科書 参考書	なし			
授業に必要な物				
備考				

【科目名】	保健体育	基礎分野(1単位)	【講師名】櫻井直人(作業療法士):医療機関にて17年実務経験、橋本円(作業療法士):医療機関にて15年実務経験 橋内駿(作業療法士):医療機関にて8年実務経験				
【講義期間】	1年次後期		【対象学生】	第 1学年 作業療法学科			
【時間数】	30時間 (2時間 15回)		【時間帯】	13:00 ~ 14:30 (他時間割参照)			
授業 内容・目標	運動による健康の維持・増進方法を学ぶ。スポーツ活動を通して行うコミュニケーションを体験する。 「楽しさ」が人間に与える効果を理解する。						
前提知識	各競技のルール						
【実施形態】	講義() 演習(○) 実習()						
到達目標	保健体育の活動を通じて体験した「体を動かす楽しさ」を作業療法にどのように生かせるか考えることができる。						
成績評価 基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)	50			50		
	実施時期	平時					
	補足						
	関心・意欲	○					
	知識・理解				○		
	思考・推論				○		
	実践・表現	○			○		

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
	1	球技	ソフトボール等屋外スポーツ	橋内
	2	球技	ソフトボール等屋外スポーツ	橋内
	3	予防体操	介護予防体操・ゲーム	橋本
	4	卓球	ルールについて、素振り、フォアハンド、バックハンド、サーブ、回転、突つき、ドライブ、カット、チキータ、試合、整理体操	橋本
	5	体力測定・歩行評価・バランス評価	TUG、10m歩行スピード、体力測定、FBS	櫻井
	6	ダンス	創作ダンス	櫻井
	7	屋外競技	復興マラソン(運営ボランティア)	OT教員
	8	屋外競技	復興マラソン(運営ボランティア)	OT教員
	9	屋外競技	復興マラソン(運営ボランティア)	OT教員
	10	屋外競技	復興マラソン(運営ボランティア)	OT教員
	11	スポーツレク	レクリエーション	橋内
	12	体育館競技	バスケットボール・バレーボール・その他屋内スポーツ, 学科間の交流	OT教員
	13	体育館競技	バスケットボール・バレーボール・その他屋内スポーツ, 学科間の交流	OT教員
	14	体育館競技	バスケットボール・バレーボール・その他屋内スポーツ, 学科間の交流	OT教員
	15	体育館競技	バスケットボール・バレーボール・その他屋内スポーツ, 学科間の交流	OT教員
	16	まとめと評価	保健体育の活動を通じて体験した「体を動かす楽しさ」を作業療法にどのように生かせるか自分の考えをまとめる。	橋本
教科書 参考書	なし 必要に応じ、プリント配布			
授業に必要な物	必要に応じて連絡。準備担当者は事前に確認をすること。			
備考	運動に適した服装(ジャージ・靴など)			

【科目名】	解剖学Ⅰ(骨格)	専門基礎分野(2単位)	【講師名】	櫻井直人(作業療法士):医療機関にて18年実務経験			
【講義期間】	1年次前期		【対象学生】	第 1 学年 作業療法学科			
【時間数】	30時間 (2時間 15回)		【時間帯】	:	~	:	(他時間割参照)
授業 内容・目標	骨格の一般的な構造と機能を理解する 人体を構成する主な骨格の位置、働き、および形状を理解する						
前提知識	ぬりえで学ぶヒトのからだで学んだ知識						
【実施形態】	講義(○)		演習()		実習()		
到達目標	骨の構造や発生について総論的に理解する。 骨格全体の成り立ちを把握するとともに、個々の骨の名称や数を正確に知る。						
成績評価 基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)		100%				
	実施時期						
	補足						
	関心・意欲	○					
	知識・理解	○	○				
	思考・推論	○	○				
	実践・表現	○					

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
4月7日	1	上肢帯	①上腕骨(上端、上腕骨体、下端)②肩甲骨(前面、後面、上縁、内側縁と外側縁、外側角、上角と下角)	櫻井
4月8日	2	自由上肢骨	①鎖骨(胸骨端、肩峰端)②橈骨(上端、橈骨体、下端)③尺骨(上端、尺骨体、下端)④手根骨(舟状骨、月状骨、三角骨、豆状骨、大菱形骨、小菱形骨、有頭骨、有鉤骨)⑤中手骨⑥指骨	櫻井
4月11日	3	自由下肢骨	①大腿骨(上端、大腿骨体、下端)②膝蓋骨③脛骨(上端、脛骨体、下端)④腓骨(上端、腓骨体、下端)⑤足根骨(踵骨、距骨、舟状骨、内側・中間・外側楔状骨、立方骨)⑥中足骨⑦趾骨	櫻井
4月17日	4	胸郭	①胸郭の全景②胸郭を構成する骨(胸骨;胸骨柄・胸骨体・剣状突起②肋骨;肋骨頭、肋骨頸、肋骨体、第一肋骨、第二肋骨、第11・12肋骨)③肋軟骨	櫻井
5月1日	5	脊柱①	①脊柱の全景②椎骨の基本形態(椎体と椎弓、突起)③各椎骨の形態特徴(頸椎:①第3~6 ②環椎③軸椎④隆椎)	櫻井
5月9日	6	脊柱②	①胸椎②腰椎③仙骨④尾骨	櫻井
5月23日	7	下肢帯	①腸骨(腸骨体、腸骨翼)②坐骨(坐骨体、坐骨枝)③恥骨(恥骨体、恥骨上枝、恥骨下枝)	櫻井
5月30日	8	骨盤	①骨盤の構造(大骨盤と小骨盤、骨盤上口と骨盤下口)②骨盤の性差	櫻井
5月31日	9	1~8までの復習		櫻井
6月13日	10	頭蓋①	①外側からみた頭蓋(上面;冠状縫合、矢状縫合、ランダム縫合 前面;鼻腔、眼窩、側面、後面、下面)②内側から見た頭蓋③新生児の頭蓋冠	櫻井
6月19日	11	頭蓋②	①頭蓋を構成する個々の骨(前頭骨、頭頂骨、後頭骨、側頭骨、蝶形骨、篩骨、下鼻甲介、鋤骨、鼻骨、涙骨、頬骨、上顎骨、口蓋骨、下顎骨、舌骨)	櫻井
6月24日	12	骨の形態①	①形状による分類 ②骨表面の特徴を表す用語 ③骨の構造(肉眼的構造、顕微鏡的構造)	櫻井
6月30日	13	骨の形態②	①骨の血管と神経(血管・神経)②骨の機能 ③骨の発生④骨のリモデリング	櫻井
7月8日	14	関節と靭帯	①骨の連結(連結の種類)②関節の構造と機能	櫻井
7月17日	15	総復習	授業の総まとめ	櫻井
7月24日	16	期末テスト(まとめと評価)	骨の部位・名称	櫻井
教科書 参考書	標準理学療法学・作業療法学(専門基礎分野) 解剖学4版			
授業に必要な物	必要に応じて連絡。準備担当者をはじめ、各自、事前に確認をすること。骨模型および筋模型が必要な場合、協力し合って準備すること。			
備考				

【科目名】	解剖学Ⅱ(筋肉)	専門基礎分野 (2単位)	【講師名】 川崎加奈(作業療法士):医療機関にて18年実務経験				
【講義期間】	1年次前期		【対象学生】 第 1 学年 作業療法学科				
【時間数】	30時間 (2時間 15回)		【時間帯】 : ~ : (他時間割参照)				
授業 内容・目標	骨格筋の一般的な構造と機能を理解する 人体を構成する主な筋の位置、働き、及び形状を理解する						
前提知識	ぬりえで学ぶヒトのからだで学んだ知識						
【実施形態】	講義(○) 演習() 実習()						
到達目標	人体を構成する骨格筋の起始・停止、作用、形状を理解する						
成績評価 基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)		70				30
	実施時期		16回				7.11.14.回
	補足						
	関心・意欲	○					
	知識・理解	○	○				○
	思考・推論	○	○				○
	実践・表現	○					

授業計画				
月付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
4月17日	1	筋学総論	筋組織の種類と特徴、骨格筋の構造・作用・神経支配	川崎
4月28日	2	上肢の筋①	上腕の屈筋(上腕二頭筋～上腕筋)、伸筋(上腕三頭筋、肘筋)	川崎
5月7日	3	上肢の筋②	前腕の屈筋(円回内筋～方形回内筋)	川崎
5月12日	4	上肢の筋③	前腕の伸筋(腕橈骨筋～示指伸筋)	川崎
5月15日	5	上肢の筋④	手指の筋(母指球筋群、小指球筋群、中手筋群)	川崎
5月19日	6	上肢の筋⑤	上肢帯の筋(三角筋～肩甲下筋)、回旋筋腱板、胸部の筋(浅胸筋群)、背部の筋(僧帽筋、広背筋、小・大菱形筋、肩甲挙筋など)	川崎
5月29日	7	上肢のテスト(10点分)	筋総論～上肢の筋(上腕～手指)の知識確認	川崎
6月2日	8	下肢の筋①	下肢帯の筋(内寛骨筋群、外寛骨筋群)、大腿の筋(伸筋群、内転筋群、屈筋群)	川崎
6月6日	9	下肢の筋②	下腿の筋(伸筋群、屈筋群、腓骨筋群)	川崎
6月18日	10	下肢の筋③	足の筋(母趾球筋群、小趾球筋群、中足筋群、足背筋群)	川崎
6月26日	11	下肢のテスト(10点分)/体幹の筋①	下肢帯～足の筋の知識確認/ 頭部の筋(表情筋群、咀嚼筋群)、頸部の筋(浅・深頸筋、側頸筋、舌骨上・下筋群)	川崎
6月30日	12	体幹の筋②	胸部の筋(浅・深胸筋群、横隔膜)	川崎
7月2日	13	体幹の筋③	腹部の筋(前・側・後腹筋群)	川崎
7月10日	14	体幹の筋④/体幹のテスト(10点分)	頭部～背部の筋の知識確認	川崎
7月16日	15	総復習	授業の総まとめ	川崎
7月28日	16	まとめと評価	人体を構成する骨格筋の起始・停止、作用、形状の確認	川崎
教科書・参考書	標準理学療法学・作業療法学(専門基礎分野) 解剖学5版			
授業に必要な物	必要に応じて連絡。準備担当者をはじめ、各自、事前に確認をすること。骨模型および筋模型が必要な場合、協力し合って準備すること。			
備考				

【科目名】	解剖学Ⅲ(神経・脈管)	専門基礎分野(2単位)	【講師名】 高村 真司(理学療法士):医療機関にて17年実務経験 櫻井 直人(作業療法士):医療機関にて18年実務経験				
【講義期間】	1年次前期		【対象学生】第1学年 作業療法学科				
【時間数】	30時間 (2時間 15回)		【時間帯】 13:00～14:30 (他時間割参照)				
授業 内容・目標	脳と脊髄の基本構造と名称、および主な末梢神経の名称と走行を理解する。 心臓の構造と名称、体幹と体肢の主な血管と走行、およびリンパ系を理解する。						
前提知識	他の科目で得た身体構造の基礎知識						
【実施形態】	講義(○)	演習()	実習()				
到達目標	人の神経・脈管系を総合的に理解する。						
成績評価 基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)		100				
	実施時期		科目終了時				
	補足						
	関心・意欲		○				
	知識・理解		○				
	思考・推論		○				
	実践・表現		○				

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
3月9日	1	神経系総論	神経系の区分・神経系の構成と機能	高村
4月16日	2	中枢神経系	大脳(前頭葉・頭頂葉・側頭葉・後頭葉)	高村
4月30日	3	中枢神経系	間脳・辺縁系	高村
5月7日	4	中枢神経系	脳幹・小脳	高村
5月14日	5	中枢神経系	神経路	高村
5月21日	6	末梢神経系	脳神経	高村
5月28日	7	末梢神経系	自律神経系	高村
6月4日	8	末梢神経系	脊髄の構造と機能	高村
6月18日	9	末梢神経系	脊髄神経(頭神経)	高村
6月25日	10	末梢神経系	脊髄神経(胸神経・腰神経)	高村
7月2日	11	末梢神経系	脊髄神経(仙骨神経)	高村
7月9日	12	循環器系	血管系 心臓・動脈系①	高村
7月16日	13	循環器系	血管系 心臓・動脈系②	高村
7月23日	14	循環器系	血管系 脳動・静脈系・脳脊髄液系	高村
7月30日	15	循環器系	血管系 静脈系・リンパ系	高村
8月6日		まとめと評価		科目担当
教科書 参考書	標準理学療法学・作業療法学(専門基礎分野) 解剖学 第6版 野村嶺(著) 医学書院 病気がみえる Vol.7 脳・神経 第2版 医療情報科学研究所(編) MEDIC MEDIA 病気がみえる Vol.2 循環 第5版 医療情報科学研究所(編) MEDIC MEDIA			
授業に必要な物	PC(講義用・常時)、全身骨格の模型・脳の模型・心臓の模型(随時)			
備考				

【科目名】	解剖学Ⅳ(内臓学)	専門基礎分野(2単位)	【講師名】	高橋 優雅(理学療法士):医療機関にて13年実務経験			
【講義期間】	1年次前期		【対象学生】	第1学年 作業療法学科			
【時間数】	30時間 (2時間 15回)		【時間帯】	時間割参照			
授業 内容・目標	人体構造のうち、内臓・感覚器について基本的な事項を理解する。						
前提知識	ぬりえで学ぶヒトのからだp45～75を終了し臓器の名前を知っていること						
【実施形態】	講義(○) 演習() 実習()						
到達目標	人体構造のうち、内臓・感覚器について基本的な事項を理解し、説明できる。						
成績評価 基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)		100				
	実施時期		等科目終了時				
	補足						
	関心・意欲		○				
	知識・理解		○				
	思考・推論		○				
	実践・表現		○				

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
4月8日	1	第7章 IV消化器系	内臓の解剖学の必要性について(なぜ学ぶのか) キーワード:口腔 嚥下 消化器系の全体像 口腔内の解剖、舌(筋、支配神経)、嚥下=口腔内の機能解剖	高橋
4月15日	2	第7章 IV消化器系	キーワード:咽頭 食道 咽頭の構造、食道の位置関係・構造	高橋
5月13日	3	第7章 IV消化器系	キーワード:胃 十二指腸 胃の構造・分泌物、十二指腸の位置関係・構造	高橋
5月20日	4	第7章 IV消化器系	キーワード:十二指腸に開口する臓器など(膵臓 肝臓 脾臓) 膵臓の構造・膵液、肝臓の構造、脾臓の構造、消化酵素の役割	高橋
5月27日	5	第7章 IV消化器系	キーワード:空腸 回腸 大腸 肛門 空腸・回腸・大腸の役割、肛門の機能解剖(内・外肛門括約筋など)	高橋
6月3日	6	第7章 IV消化器系	消化器総復習 ・中空性器官・実質性器官 腹膜内臓器・後器官 ・胸腔、腹腔の臓器の位置と機能を再度確認	高橋
6月10日	7	第7章 III呼吸器系	キーワード:鼻腔 咽頭 喉頭 呼吸器の全体像、咽頭・喉頭の解剖、声門(発声の仕組み)	高橋
6月17日	8	第7章 III呼吸器系	キーワード:気管 肺 横隔膜 縦隔 気管、気管支、肺の構造、肺区域、呼吸の機能解剖	高橋
6月24日	9	第7章 V泌尿生殖器系	キーワード:腎臓 尿管 膀胱 泌尿器の全体像、腎臓の構造、尿管の解剖、膀胱・尿道・排尿	高橋
7月1日	10	第7章 V泌尿生殖器系	キーワード:男性生殖器 女性生殖器 男性生殖器、女性生殖器、骨盤底	高橋
7月1日	11	第6章 感覚器系	キーワード:皮膚 嗅覚 味覚 皮膚、皮膚の神経、感覚受容器、角質器、嗅覚、味覚	高橋
7月8日	12	第6章 感覚器系	キーワード:視覚器 眼球、眼球内容物、副眼器	高橋
7月15日	13	第6章 感覚器系	キーワード:聴覚器 平衡聴覚器、外耳、内耳、前庭動眼反射	高橋
7月22日	14	第7章 VI内分泌系	キーワード:ホルモン ホルモンと標的器官、役割	高橋
7月29日	15	第7章 VI内分泌系	キーワード:内分泌腺 下垂体(前葉ホルモン、中間部ホルモン、後葉ホルモン) 松果体(メラトニン)、甲状腺(甲状腺ホルモン)、上皮小体(パルチン) 副腎(副腎皮質、副腎髄質)、膵島(ランゲルハンス島) 腎臓(レニン、エリスロポエチン)視床下部、消化管、 心臓(心房性ナトリウム利尿ペプチド)	高橋
8月5日		まとめと評価	知識・理解度の確認	高橋
教科書 参考書	標準理学療法学・作業療法学(専門基礎分野) 解剖学 第6版 野村巖(著) 医学書院			
授業に必要な物	座学ではPC、プロジェクターを準備する。			
備考				

【科目名】	体表解剖	専門基礎分野(1単位)	【講師名】 吉田翔太(作業療法士):医療機関にて13年実務経験、				
【講義期間】	1年次後期		【対象学生】第 1学年 作業療法学科				
【時間数】	30時間 (2時間 15回)		【時間帯】 9:00 ~ 10:30 (他時間割参照)				
授業 内容・目標	正常な人間の関節運動を観察・触診によって分析し、運動学の用語を用いて表現できる。人体の関節構造と運動について総合的に理解する。						
前提知識	動作や身体構造を理解するための解剖学(骨・筋)に関する基礎知識。						
【実施形態】	講義(○)	演習()	実習()				
到達目標	骨指標を理解し、的確に骨・筋を触診できる。 安全に配慮し、対象者に適切な指示を与えることが出来る。						
成績評価 基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)		90		10		
	実施時期	授業時	当科目終了時				
	補足						
	関心・意欲	○			○		
	知識・理解	○	○		○		
	思考・推論	○	○		○		
	実践・表現	○			○		

授業計画					
日付	回数	テーマ		講義内容・キーワード	講師
	1	触診の基本、上肢の骨指標1	□	肩甲骨(肩甲棘・肩峰角・内側縁・下角・外側縁・上角・烏口突起)・鎖骨(鎖骨体・肩鎖関節・胸鎖関節)・上腕骨(大結節・小結節・結節間溝)・肩峰と大結節の間隙	吉田
	2	上肢の筋1・上肢の骨指標2	□	肩甲上腕関節に関わる筋(三角筋・大胸筋・棘上筋・棘下筋・小円筋・大円筋) 肩甲胸郭関節に関わる筋(僧帽筋・菱形筋・小胸筋・前鋸筋)	吉田
	3	上肢の筋2・上肢の骨指標3	□	肘関節に関わる骨指標(上腕骨外側上顆・内側上顆・上腕骨小頭・橈骨頭・肘頭・尺骨神経溝)・上腕二頭筋・上腕筋・腕橈骨筋・上腕三頭筋)	吉田
	4	手部の骨指標	□	手根骨、指骨(橈骨茎状突起・リスター結節・遠位橈尺関節・尺骨茎状突起・豆状骨・タバコ窩・舟状骨・三角骨・月状骨・指骨)	吉田
	5	上肢の筋3	□	手関節・手指に関わる筋(長掌筋・橈側手根屈筋・尺側手根屈筋・長短橈側手根伸筋・尺側手根伸筋・総指伸筋・FDP・FDS・長母指屈筋)	吉田
	6	上肢帯 まとめ		筋の起始停止・作用	吉田
	7	下肢の骨指標	□	骨盤(腸骨稜・上・下全腸骨棘・仙腸関節・靱帯・坐骨結節・恥骨結合・ヤコビー線)・大腿骨(大転子・大腿骨頭・ローザーネラトン線)	吉田
	8	下肢の筋1	□	大腿骨・股関節に関わる筋、スカルパ三角関連(腸腰筋・大殿筋・小殿筋・鼠径靱帯・縫工筋・長内転筋・大腿動脈・神経)	吉田
	9	下肢の筋2	□	膝関節周辺(骨)・膝関節に関わる筋・膝関節関連(膝蓋骨・内・外側顆・関節裂隙・腓骨頭・大腿直筋・大腿二頭筋・半腱・半膜様筋)	吉田
	10	足部の骨指標、下肢の筋3	□	足関節および足部周辺の骨と筋(外・内果・距腿関節・前脛骨筋・腓腹筋、ヒラメ筋・長趾・長母趾屈筋腱(足根管レベル))	吉田
	11	下肢帯 まとめ		筋の起始停止・作用、筋群、その他	吉田
	12	脊柱に関連する諸組織		外後頭隆起、上下項線、環椎横突起、頸椎棘突起、腰椎棘突起、仙骨正中線・骨稜、椎間関節、胸椎棘突起、腹直筋、外内腹斜筋、腰部多裂筋	吉田
	13	胸郭に関連する諸組織	□	胸骨柄、頸切痕、胸骨角、鎖骨間靱帯、第1.2胸肋関節、胸骨体、剣状突起、第3-7胸肋関節、第11.12肋骨、腰方形筋、乳様突起、胸鎖乳突筋、前中斜角筋、腕神経叢	吉田
	14	頭部・体幹 まとめ		筋の起始停止・作用	吉田
	15	総復習		上肢・下肢・頭部・体幹の筋総復習	吉田
	16	まとめと評価		触診の基本、人体の関節構造と運動の確認	吉田
教科書 参考書	標準理療法学・作業療法学 専門基礎分野 解剖学 機能解剖学的触診技術(上肢、下肢・体幹) メジカルビュー社				
授業に必要な物					
備考	動きやすく、皮膚、骨、筋が触診しやすい服装を各自準備。 授業に関連する資料や書籍をできる限り持参すること				

【科目名】	生理学Ⅰ	専門基礎分野 3単位	【講師名】	渡辺 似望(理学療法士):医療機関にて13年実務経験 川崎 加奈(作業療法士):医療機関にて16年実務経験			
【講義期間】	1年次後期		【対象学生】	第1学年 作業療法学科			
【時間数】	60時間 (2時間 30回)		【時間帯】	別紙(時間割)参照			
授業 内容・目標	人体を構成する各種器官・器官系の働きとその仕組みについての基本的な事柄を理解する						
前提知識	解剖学(内臓諸器官、筋、神経、脳など)						
【実施形態】	講義(○)	演習(○)	実習()				
到達目標	人体を構成する各種器官・器官系の働きとその仕組みについて説明できる						
成績評価 基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)		85				15
	実施時期						
	補足						
	関心・意欲	○	○				○
	知識・理解	○	○				○
	思考・推論	○	○				○
	実践・表現						

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
	1	生命現象と人体	身体の階層性、生命現象、水、ホメオスタシス	渡辺
	2	細胞の構造と機能①	細胞膜、核、細胞小器官	渡辺
	3	神経の興奮伝導と末梢神経①	神経細胞の構造、静止電位、活動電位、興奮の伝導(跳躍伝導)	渡辺
	4	神経の興奮伝導と末梢神経②	末梢神経の種類(脳神経、脊髄神経)、自律神経	渡辺
	5	神経の興奮伝導と末梢神経③	シナプスにおける興奮の伝達(シナプスの構造、興奮の伝達、神経伝達物質)	渡辺
	6	神経の興奮伝導と末梢神経④	まとめ(神経の興奮と伝導)	渡辺
	7	筋と骨①	骨格筋(構造、運動単位、興奮収縮連関、骨格筋の収縮)	渡辺
	8	筋と骨②	骨格筋(骨格筋繊維の種類、筋紡錘とGolgi臓器)	渡辺
	9	筋と骨③	心筋(不応期、Starlingの法則)、平滑筋(機能)、骨(形成と吸収、成長)	渡辺
	10	筋と骨④	まとめ(骨格筋、心筋、平滑筋、骨)	渡辺
	11	前半のまとめ	前半総まとめ(「生命現象と人体」～「感覚」まで)	渡辺
	12	中枢神経系①	中枢神経系の構造、脊髄	渡辺
	13	中枢神経系②	脳幹、小脳、間脳	渡辺
	14	中枢神経系③	大脳皮質、脳の高次脳、脳波、覚醒と睡眠、その他	渡辺
	15	中枢神経系④	まとめ(中枢神経系の構造・機能)	渡辺
	16	感覚について①	閾値、順応、体性感覚(皮膚感覚、深部感覚)、深部感覚、内臓感覚	渡辺
	17	感覚について②	特殊感覚(1)視覚	渡辺
	18	感覚について③	特殊感覚(2)聴覚と平衡感覚、味覚、嗅覚	渡辺
	19	感覚について④	まとめ(体性感覚、視覚、聴覚)	渡辺
	20	中間のまとめ	中間総まとめ(「神経」～「中枢」)	渡辺
	21	血液について①	血液の組成(赤血球、白血球)	渡辺
	22	血液について②	血液の組成(血小板、血漿、血液型)	渡辺
	23	血液について③	まとめ(血液の組成)	渡辺
	24	心臓と循環①	血液の循環、刺激伝導系、神経による調節	渡辺
	25	心臓と循環②	心電図、血液の拍出と血圧	渡辺
	26	心臓と循環③	心周期	渡辺
	27	心臓と循環④	血圧の調節、静脈還流、臓器循環、リンパ循環	渡辺
	28	運動生理①	筋力と筋持久力、筋収縮のエネルギー源	渡辺
	29	運動生理②	運動に伴う全身の変化、トレーニングの効果、加齢変化	渡辺
	30	後半のまとめ	後半総まとめ(「感覚」～「血液」)	渡辺
	31	まとめと評価	人体を構成する各種器官・器官系の働きとその仕組みの理解	渡辺
	標準理学療法学・作業療法学 生理学 第5版 病気がみえる Vol.7 脳・神経 病気がみえる Vol.2 循環			
授業に必要な物	パソコン、プロジェクター類			
備考				

【科目名】	生理学Ⅱ	専門基礎分野2単位	【講師名】	吉田 翔太(作業療法士):医療機関にて13年実務経験			
【講義期間】	1年次後期		【対象学生】	第1学年 作業療法学科			
【時間数】	45時間 (2時間 23回)		【時間帯】	他時間割参照			
授業 内容・目標	人体を構成する各種器官・器官系の働きとその仕組みについての基本的な事柄を理解する						
前提知識	人体を構成する各種器官・器官系の解剖						
【実施形態】	講義(○)	演習(○)	実習()				
到達目標	人体を構成する各種器官・器官系の働きとその仕組みについて理解できる 人体を構成する各種器官・器官系の働きとその仕組みについて説明できる						
成績評価 基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)		85				15
	実施時期						3回のまとめ
	補足						(前半・中間・後半)
	関心・意欲	○	○				○
	知識・理解	○	○				○
	思考・推論	○	○				○
	実践・表現						

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
	1	呼吸とガスの運搬①	外呼吸と内呼吸、気道と肺胞	吉田(翔)
	2	呼吸とガスの運搬②	呼吸運動、呼吸気量	吉田(翔)
	3	呼吸とガスの運搬③	ガス交換とガスの運搬、呼吸の調節、病的呼吸	吉田(翔)
	4	尿の生成と排泄①	腎臓の役割・腎臓の構造	吉田(翔)
	5	尿の生成と排泄②	尿の生成、クリアランス	吉田(翔)
	6	尿の生成と排泄③	排尿、尿の性状と排尿の異常	吉田(翔)
	7	尿の生成と排泄④(酸塩基平衡①)	血漿のpH調節	吉田(翔)
	8	尿の生成と排泄⑤(酸塩基平衡②)	血漿のpH調節	吉田(翔)
	9	前半のまとめ	第9章～第10章のまとめ	吉田(翔)
	10	消化と吸収①	消化器の役割、口腔消化と嚥下	吉田(翔)
	11	消化と吸収②	食道における食物輸送、胃の役割と消化	吉田(翔)
	12	消化と吸収③	十二指腸・空腸・回腸における消化と栄養素の吸収、大腸の役割、肝臓の役割	吉田(翔)
	13	内分泌①	内分泌機能とホルモン	吉田(翔)
	14	内分泌②	各腺から分泌されるホルモンの作用①下垂体と視床下部	吉田(翔)
	15	内分泌③	各腺から分泌されるホルモンの作用②甲状腺と副甲状腺、副腎皮質と副腎髄質	吉田(翔)
	16	内分泌④	各腺から分泌されるホルモンの作用③膵臓、性腺、その他	吉田(翔)
	17	中間のまとめ	第11、13章のまとめ	吉田(翔)
	18	栄養と代謝①	栄養素	吉田(翔)
	19	栄養と代謝②	エネルギー代謝	吉田(翔)
	20	生殖と発生・成長と老化①	男性生殖機能、女性生殖機能	吉田(翔)
	21	生殖と発生・成長と老化②	受精、着床、発生、成長と老化	吉田(翔)
	22	運動生理①	筋力と筋持久力、筋収縮のエネルギー源	吉田(翔)
	補	運動生理②	運動に伴う全身の変化、トレーニングの効果、加齢変化	吉田(翔)
	23	後半のまとめ	第12、14、15章のまとめ	吉田(翔)
	24	まとめと評価	人体を構成する各種器官・器官系の働きとその仕組みの理解	吉田(翔)
教科書 参考書	標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 生理学 第6版 病気がみえる Vol.7 脳・神経 病気がみえる Vol.4 呼吸器			
授業に必要な物	パソコン、プロジェクター類			
備考				

【科目名】	基礎運動学	専門基礎分野2単位	【講師名】	櫻井直人(作業療法士):医療機関にて16年実務経験			
【講義期間】	1年次後期		【対象学生】	第 1学年 作業療法学科			
【時間数】	45時間 (2時間 23回)		【時間帯】	14 : 40 ~ 16 : 10 (他時間割参照)			
授業 内容・目標	正常な人間の関節運動を分析するために必要な知識を習得し、専門的な運動学の用語を用いて表現できる。						
前提知識	各骨の名称						
【実施形態】	講義(○)		演習()		実習()		
到達目標	解剖学・生理学の基礎を理解し、人体の運動学的なメカニズムを理解する。 人体の関節構造と運動について総合的に理解する。						
成績評価 基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他
	配分(%)		80		20		
	実施時期		23回目		授業途中		
	補足						
	関心・意欲		○		○		
	知識・理解		○		○		
	思考・推論		○		○		
	実践・表現						

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
9月	1	肩甲帯・肩①	肩関節の運動を構成する関節と筋・靱帯、肩甲骨のアライメント、回旋筋腱板	櫻井
	2	肩甲帯・肩②	肩甲上腕関節・肩甲胸郭関節の理解、肩甲上腕リズム、フォースカップル機構	櫻井
	3	肘・前腕①	肘関節の運動を構成する関節と筋・靱帯、肘角(運搬角)、ヒューター三角	櫻井
	4	肘・前腕②	腕神経叢の理解、肘関節の安定性について	櫻井
	5	手関節・手①	手関節の運動を構成する関節と筋・靱帯、手根骨の理解、手の外観と表在感覚	櫻井
	6	手関節・手②	手根管・尺骨神経管(ギヨン管)、腱鞘、解剖学的嗅ぎタバコ入れ、手指の伸展機構	櫻井
	7	手関節・手③	テノデシスアクション、手のアーチ、把握の分類	櫻井
	8	骨盤帯・股①	股関節の運動を構成する関節と筋・靱帯、骨盤帯、大腿骨の理解	櫻井
	9	骨盤帯・股②	ヤコビー線、スカルパ三角、ローザーネラトン線、仙骨神経叢・腰神経叢	櫻井
	10	膝・下腿①	膝関節の運動を構成する関節と筋・靱帯、FTA角、転がり・滑り運動の理解	櫻井
	11	膝・下腿②	膝関節のOKCとCKC、膝に関わる靱帯と半月板の関係性	櫻井
	12	足・足関節①	足関節の運動を構成する関節と筋・靱帯、ショパール・リスフラン関節、ペーラー角	櫻井
	13	足・足関節②	足のアーチ、足部の筋の神経支配、下腿筋の拮抗・共同関係、足根管	櫻井
	14	関節の構造と機能	軸、関節面の形状分類と具体的な関節、関節円板の有無	櫻井
10月	15	頭部・顔面	頭部・顔面の骨、顎関節の構造と運動、咀嚼筋と顔面筋(表情筋)、外眼筋	櫻井
	16	脊柱①	脊柱とその弯曲、椎骨の構造、脊柱の靱帯(運動の制限因子の理解)	櫻井
	17	脊柱②	椎間円板の役割、脊柱各部の形態的特徴	櫻井
	18	胸郭①	胸郭の構造、肋骨の理解(真肋・仮肋・浮遊肋)、胸郭運動に関係する関節	櫻井
	19	胸郭②	呼吸筋(呼吸時・吸気時)、呼吸時の胸郭の動き	櫻井
	20	力学の基礎①(てこの理解)	第1のてこ、第2のてこ、第3のてこの特徴の理解、身体とてこ	櫻井
	21	力学の基礎②(力とモーメントの理解)	力学的用語(ニュートンなど)	櫻井
	22	試験対策	総復習	櫻井
	23	試験対策	総復習	櫻井
	24	まとめと評価②(80点分)	※試験終了後省察を学内実習にて行い、三科目模擬試験の対策に繋げる	櫻井
教科書 参考書	15レクチャーシリーズ 理学療法・作業療法テキスト 運動学 標準理学療法・作業療法学 専門基礎分野 解剖学 第5版 医学書院			
授業に必要な物				
備考	提出課題は次回講義前に必ず提出する事			

【科目名】	人間発達学	専門基礎分野(2単位)	【講師名】	川崎加奈(作業療法士):医療機関にて18年実務経験			
【講義期間】	1年次前期		【対象学生】	第 1学年 作業療法学科			
【時間数】	30時間 (2時間 15回)		【時間帯】	: ~ : (他時間割参照)			
授業内容・目標	生物学的・社会的・心理的存在としての人間を発達という観点から全体として把握する。						
前提知識							
【実施形態】	講義(○) 演習() 実習()						
到達目標	胎生期から幼児期までの運動・認知・社会性の発達を理解する。						
成績評価基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)		80				20
	実施時期		16回目				5回目、10回目
	補足						
	関心・意欲	○	○				
	知識・理解	○	○				
	思考・推論		○				
	実践・表現						

授業計画				
月付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
4月18日	1	運動発達①	成長区分、成長の対比、発達の指標など	川崎
4月30日	2	運動発達②	原始反射、姿勢反射について	川崎
5月8日	3	運動発達③	運動・移動の発達	川崎
5月12日	4	運動発達④	手と目の協調性	川崎
5月22日	5	前半のまとめ	運動発達①～④について	川崎
5月26日	6	認知機能の発達	愛着関係の発達、ピアジェの認知発達理論	川崎
6月3日	7	言語機能・ADLの発達	言語、セルフケアの発達	川崎
6月9日	8	「遊び」の発達	各成長過程での「遊び」の意味について	川崎
6月12日	9	発達検査	デンバー発達スクリーニング検査、遠城寺式・乳幼児分析的発達検査表	川崎
6月19日	10	後半のまとめ	認知機能の発達～発達検査まで	川崎
6月23日	11	発達課題	エリクソンの発達理論	川崎
6月26日	12	心の発達	フロイトの発達理論・防衛機制について	川崎
7月1日	13	胎生期の発達	遺伝子・染色体、ヒトの発生、遺伝子病	川崎
7月3日	14	老年期の変化	心身の老化	川崎
7月8日	15	総復習	授業内容の総まとめ	川崎
7月17日	16	まとめと評価	胎生期～老年期までの発達について	川崎
教科書 参考書	必修ポイント 専門基礎分野 基礎医学2024 医歯薬出版 標準作業療学 作業療法評価法 第3版 医学書院			
授業に必要な物	必要に応じて連絡。準備担当者は事前に確認してください。 配布した授業資料は、整理して毎回持ってきてください。			
備考				

【科目名】	人体の構造と機能	専門基礎分野(2単位)	【講師名】	橋本円(作業療法士):医療機関にて15年実務経験			
【講義期間】	1年次後期		【対象学生	第 1学年	作業療法学科		
【時間数】	30時間 (2時間 15回)		【時間帯】	:	~	:	(他時間割参照)
授業 内容・目標	人体の構造と機能について、解剖学・運動学・生理学をベースに理解することができる 2年次に学習する疾患学を理解する基礎を確実にする						
前提知識	前期履修科目の解剖学Ⅰ～Ⅳを再復習しておくこと						
【実施形態】	講義(○)	演習()	実習()				
到達目標	人体の構造について、立体的に捉えることができる 各種臓器の機能と役割について図を用いて説明することができる 期末に行われる3科目の外部模試での正答率が5割以上となる						
成績評価 基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)		70%		30%		
	実施時期		16回		随時		
	補足						
	関心・意欲				○		
	知識・理解		○		○		
	思考・推論		○		○		
	実践・表現				○		

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
9/1	1	授業のオリエンテーション・解剖学の理解	実力測定 学習の進め方の説明	橋本
	2	解剖学の理解	動物性機能 (中枢神経系、末梢神経系)	橋本
	3	解剖学の理解		橋本
	4	解剖学の理解	動物性機能 (骨格筋、視覚・聴覚・平衡感覚)	橋本
	5	解剖学の理解		橋本
	補	生理学の理解	実力測定 振り返り	橋本
	6	生理学の理解	植物性機能 (呼吸器、循環器、消化器)	橋本
	7	生理学の理解		橋本
	8	生理学の理解		橋本
	9	生理学の理解	植物性機能 (泌尿器、生殖器、代謝、内分泌、発生)	橋本
9/15	10	運動学の理解	実力測定 振り返り	橋本
	11	運動学の理解	上肢の筋と運動	橋本
	12	運動学の理解	下肢の筋と運動	橋本
	13	運動学の理解	骨格系、力学	橋本
	14	運動学の理解	歩行	橋本
	15	総合解釈	模擬問題の実施・振り返り	橋本
	16	まとめと確認	基礎3科目医歯薬模擬試験	橋本
教科書 参考書	解剖学・生理学・運動学の教科書、必修ポイント 病気が見えるシリーズ			
授業に必要な物				
備考	毎回決められた期限までに課題を実施し、確認を受けること。 本科目は1年生の集大成の科目である。成績不良者は進級が難しいので留意すること。			

【科目名】	病理学	専門基礎分野(2単位)	【講師名】	三木 康宏			
【講義期間】	1年次後期 令和7年10月1日～		【対象学生	第 1学年 理学療法学科 65名 作業療法学科 25名			
【時間数】	30時間 (2時間 15回) ほか期末試験 火曜日		【時間帯】	9 : 00 ~ 10 : 30			
授業内容・目標	病理学とは、「やまい(病)」の「ことわり(理)」を学ぶ学問である。種々の疾患によって、組織・細胞はさまざまな適応をとるが、「病理学」ではその意味と疾患のかかりについて学修する。						
前提知識	「病理学」は「解剖学」や「生理学」などの基礎医学と密接に関係している。毎回の講義内容について、これまでに修得した基礎医学との関連を見いだすことが重要であり、そこから「心身機能の異常」について理解する必要がある。						
【実施形態】	講義(○)	演習()	実習()				
到達目標	1.心身機能上の異常において、その原因と身体の組織学的変化について学び、説明できるようになる。 2.人体の変化から疾病の原因を推定できるようになる。 3.以上から、疾病の成り立ちを病理組織学的な観点から理解できるようになる。						
成績評価基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)		100%				
	実施時期		当科目終了時				
	補足						
	関心・意欲		○				
	知識・理解		○				
	思考・推論		○				
	実践・表現						

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
9月6日	1	病理学とは何か	これから病理学を学ぶにあたり、「病理学」について具体的な症例を提示しながら、医療におけるその意義について解説する。	笹野教授
10月7日	2	病気の発生要因(病因)	・病気の原因(病因)について(教科書第1章)	三木
10月14日	3	組織・細胞の適応-1	・細胞の基本構造とその増殖と死について(教科書第2章)	三木
10月21日	4	組織・細胞の適応-2	・再生と化生について(教科書第2章) ・萎縮の原因と分類について(教科書第2章)	三木
10月28日	5	組織・細胞の適応-3	・肥大・過形成、創傷治癒について(教科書第3章) ・進行性/退行性病変のまとめ(教科書第2、3章)	三木
11月4日	6	生体防御反応としての炎症-1	・急性炎症について(教科書第5章)	三木
11月11日	7	生体防御反応としての炎症-2	・慢性炎症について(教科書第5章)	三木
11月18日	8	免疫:基礎	・感染症について(免疫学の導入として)(教科書第6章) ・免疫の基礎について(教科書第7章)	三木
11月25日	9	免疫:疾患との関わり	・免疫と疾患について(アレルギー、自己免疫疾患、免疫不全)(教科書第7章)	三木
12月2日	10	腫瘍とは、腫瘍の発生	・良性腫瘍と悪性腫瘍の鑑別について(教科書第9章) ・腫瘍の発生要因について(教科書第9章)	三木
12月9日	11	腫瘍のひろがり	・悪性腫瘍の転移について(教科書第9章)	三木
12月16日	12	循環障害:局所	・充血、うっ血、虚血について(教科書第4章) ・血栓形成、梗塞について(教科書第4章)	三木
12月23日	13	循環障害:全身	・心不全について(教科書第4章) ・DIC、側副循環路について(教科書第4章)	三木
1月6日	14	遺伝と疾患	・遺伝の基礎について(教科書第8章) ・遺伝病について(教科書第8章)	三木
1月13日	15	病理学とはなにか(再考)	日本人の主な死因の年次推移のグラフから、これまでに学んだ病理学を再考する(資料を配布)。	三木
教科書参考書	シンプル病理学改訂第8版 南江堂			
授業に必要な物	PCとプロジェクターを準備する。 教科書とノートを用意する(教科書に線を引いたり、スライドの内容を筆記したりするのでその対応)。			
備考	適宜、補足のプリントを配布する。			

【科目名】	臨床心理学	専門基礎分野(2単位)	【講師名】	長谷川 涼子			
【講義期間】	1年次後期 令和7年10月1日～		【対象学生	第 1学年 理学療法学科 65名 作業療法学科 25名			
【時間数】	30時間 (2時間 15回) ほか期末試験 金曜日		【時間帯】	9 : 00 ～ 10 : 30			
授業内容・目標	臨床心理学は人生の発達過程である誕生から死に至る様々なライフイベントを理解し、躰きが生じた場合のアセスメントと心理援助を探究する学問である。全人的な視点に立ち現場で行われるチーム医療に役立つと考えられる。自己体験に置き換えお互いに意見交換する。						
前提知識	教科書を手に取り一読しておく。						
【実施形態】	講義 (○)	演習 ()	実習 (○)				
到達目標	講義、映像、グループディスカッションを含め「生・老・病・死」について体験的に身近な問題として学習する						
成績評価基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)	10	80			10	
	実施時期						
	補足						
	関心・意欲						
	知識・理解						
	思考・推論						
	実践・表現						

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
10/3	1	オリエンテーション ①	医療現場での公認心理師の仕事	長谷川
10/10	2	オリエンテーション ②	医療現場での公認心理師の仕事	長谷川
10/17	3	「ストレスの不思議」	ストレスを学ぶ映像	長谷川
10/24	4	心理療法①	カウンセリングの実際の映像	長谷川
11/7	5	心理療法②	カウンセリング以外の心理療法	長谷川
11/14	6	テーマ「出生前診断」ディスカッション	自己体験として考える	長谷川
11/21	7	「赤ちゃんの不思議」	赤ちゃんの誕生と発達の映像	長谷川
11/28	8	「ママたち非常事態」	子育ての現実と生理学の映像	長谷川
12/5	9	成人期の発達	成人期の発達課題	長谷川
12/12	10	「病の起源 うつ」	鬱の起源についての映像	長谷川
12/19	11	テーマ「事故で脊椎損傷」ディスカッション	自己体験として考える	長谷川
12/26	12	テーマ「がん告知」ディスカッション	自己体験として考える	長谷川
1/16	13	テーマ「あなたは83歳の独居老人」ディスカッション	自己体験として考える	長谷川
1/23	14	ユマニチュード	映像と解説	長谷川
1/30	15	振り返り	授業の振り返り	長谷川
教科書 参考書	面白いほどよくわかる 臨床心理学 下山晴彦 西東社			
授業に必要な物	教科書を持参			
備考				

【科目名】	リハビリテーション医学	専門基礎分野(1単位)	【講師名】	水尻 強志			
【講義期間】	1年次後期 令和7年10月6日～		【対象学生 第 1 学年	理学療法学科 65名 作業療法学科 25名			
【時間数】	15時間 ほか期末試験 月曜日		【時間帯】	13:30 ～ 15:00 15:10 ～16:40			
授業 内容・目標	リハビリテーション医学の基本的な考え方を理解する。						
前提知識	これまでに学んだ解剖学、生理学の基礎知識。						
【実施形態】	講義(○)	演習()	実習()				
到達目標	障害構造を理解し、問題点リストを作成できるようになる。リハビリテーション医学の基本的アプローチ(廃用症候群の予防、治療的学習、環境調整、チーム医療)を理解する。脳血管障害など重要な対象疾患における機能障害の評価法を理解する。						
成績評価 基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)		100%				
	実施時期		当科目終了後				
	補足		選択式テスト				
	関心・意欲						
	知識・理解		○				
	思考・推論		○				
	実践・表現						

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
10月6日	1	リハビリテーション医学総論(1) 高齢社会と高齢者医療	高齢化、高齢者向け住まい、死因と生活機能低下の違い、医療機関の機能分化と連携、地域包括ケアシステム	水尻
10月6日	2	リハビリテーション医学総論(2) リハビリテーションの定義と歴史、生活機能と障害	Physical Medicine、Rehabilitation、バリアフリー、ユニバーサルデザイン、自立生活、介護保険、障害者総合支援法 ICIDH、ICF、ADL、IADL、Barthel Index、FIM	水尻
10月20日	3	リハビリテーション医学総論(3) 廃用症候群と運動学習	廃用症候群、生活不活発病、フレイル、介護予防 活動-機能-構造連関、治療的学習、環境調整、チーム医療	水尻
10月20日	4	リハビリテーション医学各論(1) 中枢神経障害の評価	脳の解剖と生理、脳血管障害の分類と診断、機能障害の評価:麻痺、感覚障害	水尻
11月10日	5	リハビリテーション医学各論(2) 中枢神経障害の評価(続き)、嚥下障害	機能障害の評価: 意識障害、高次脳機能障害(失語、無視症候群、失行) 摂食・嚥下障害: メカニズム、評価(嚥下造影、嚥下内視鏡)、リハビリテーション	水尻
11月10日	6	リハビリテーション医学各論(3) 超高齢社会における医療倫理の諸課題	医療倫理の原則、終末期医療と診療の差し控え、人工栄養導入の可否、転倒予防と身体拘束	水尻
11月17日	7	リハビリテーション医学各論(4) 神経筋疾患、末梢神経障害	各種神経筋疾患: 病態、症状、治療 末梢神経障害: 外傷性損傷、絞扼性神経障害、多発神経障害	水尻
11月17日	8	リハビリテーション医学各論(5) 小児疾患、内部障害	脳性麻痺: 原因、分類、評価、治療 心機能障害、呼吸機能障害、糖尿病: 評価、治療	水尻
	9	期末試験		内部教員
	10			
	11			
	12			
	13			
	14			
	15			
教科書 参考書	リハビリテーション医学テキスト改訂第5版 南江堂			
授業に必要な物	PC、プロジェクターを準備する。配布資料あり。			
備考	わからないことがあった場合、積極的に質問をすること。			

【科目名】	公衆衛生学	専門基礎分野(1単位)	【講師名】	吉田 眞紀子			
【講義期間】	1年次後期 令和7年12月4日～		【対象学生	第 1学年 理学療法学科 65名 作業療法学科 25名			
【時間数】	15時間(2時間 7.5回)ほか期末試験 木 曜日		【時間帯】	9:00～10:30 10:40～12:10 10:40～11:25			
授業 内容・目標	公衆衛生の成り立ちと基本を学ぶ。						
前提知識							
【実施形態】	講義(○)	演習(○)	実習()				
到達目標	公衆衛生の基本を理解し、自身の職業との関連を知る						
成績評価 基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)				50%	50%	
	実施時期						
	補足						
	関心・意欲						
	知識・理解						
	思考・推論						
	実践・表現						

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
12/4(木) 9:00～	1	総論	公衆衛生の概要、健康、世界保健機関について学ぶ	吉田
12/4(木)10: 40～	2	公衆衛生の歴史 1	グループワーク1 公衆衛生と自分たちの生活との関連を調べる	吉田
12/11(木)9: 00～	3	地域における公衆衛生	地域保健行政の概要・高齢者、成人、母子、子ども、学校における保健行政を学ぶ	吉田
12/11(木) 10:40～	4	地域における公衆衛生	グループワーク2 高齢者、成人、母子、子ども、学校における保健行政の基礎となる「現在の状況」を調べてまとめる	吉田
12/18(木)9: 00～	5	老人・成人保健、母子保健、学校保健	グループワーク3 高齢者、成人、母子、子ども、学校における保健行政における「制度」を調べてまとめる	吉田
12/18(木) 10:40～	6	老人・成人保健、母子保健、学校保健	グループワーク4 発表準備	吉田
12/25(木) 9:00～	7	老人・成人保健、母子保健、学校保健	グループワーク発表・ディスカッション	吉田
12/25(木) 10:40～11:25	8	老人・成人保健、母子保健、学校保健	グループワーク発表・ディスカッション	吉田
	9	期末試験		内部教員
	10			
	11			
	12			
	13			
	14			
	15			
教科書 参考書	系統看護学講座専門基礎分野公衆衛生 第15版 神馬征峰ほか 医学書院			
授業に必要な物	コンピュータ(グループワーク時使用)			
備考				

【科目名】	地域リハビリテーション	専門基礎分野(2単位)	【講師名】 櫻井直人(作業療法士):医療機関にて18年実務経験 吉田翔太(作業療法士):医療機関にて14年実務経験				
【講義期間】	1年次前期	【対象学生】	第 1 学年 作業療法学科				
【時間数】	30時間 (2時間 15回)	【時間帯】	: ~ : (他時間割参照)				
授業 内容・目標	地域リハビリテーションの概念を理解する 地域社会における作業療法士の役割を理解する 地域リハビリテーション実習に臨む心構えを作る						
前提知識	作業療法士の職域を理解出来ている						
【実施形態】	講義(○)	演習(○)	実習()				
到達目標	地域リハビリテーションの概念を理解し、滞りなく見学実習に臨む事が出来る。						
成績評価 基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)	10			40	50	
	実施時期						
	補足						
	関心・意欲	○			○	○	
	知識・理解				○	○	
	思考・推論				○	○	
	実践・表現					○	

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
5月2日	1	地域リハビリテーションの概念の理解①	作業療法士が働く各領域について、作業療法における「地域」とは	櫻井
5月23日	2	地域リハビリテーションの概念の理解②	地域での作業療法士の役割、各機関の役割、他職種について	櫻井
6月5日	3	医療面接での態度について	実習の基本的態度、マナー・接遇、個人情報扱い、守秘義務について	櫻井
	4	地域リハビリテーションの実践①(訪問)	訪問リハビリの概要と作業療法士の役割。他職種連携について。1日の流れや1週間の仕事内容。他職種との連携について。	IMS先生方
	5	地域リハビリテーションの実践②(訪問)	訪問リハビリの概要と作業療法士の役割。他職種連携について。1日の流れや1週間の仕事内容。他職種との連携について。	IMS先生方
	6	地域リハビリテーションの実践③(訪問)	精神領域における病院・診療所での作業療法士の役割と実際。対象者疾患や特徴。1日の流れや2週間の仕事内容。	IMS先生方
	7	地域リハビリテーションの実践④(訪問)	精神領域における病院・診療所での作業療法士の役割と実際。対象者疾患や特徴。1日の流れや2週間の仕事内容。	IMS先生方
	8	地域リハビリテーションの実践⑤(身障)	訪問リハビリの概要と作業療法士の役割。他職種連携について。1日の流れや1週間の仕事内容。他職種との連携について。	IMS先生方
	9	地域リハビリテーションの実践⑥(身障)	訪問リハビリの概要と作業療法士の役割。他職種連携について。1日の流れや1週間の仕事内容。他職種との連携について。	IMS先生方
	10	地域リハビリテーションの実践⑦(老年期)	身障領域における病院急性期・回復期での作業療法士の役割と実際。対象者疾患や特徴。1日の流れや1週間の仕事内容。	IMS先生方
	11	地域リハビリテーションの実践⑧(老年期)	身障領域における病院急性期・回復期での作業療法士の役割と実際。対象者疾患や特徴。1日の流れや1週間の仕事内容。	IMS先生方
7月14日	12	地域社会における作業療法士の役割①	ケーススタディー(1) グループワーク「作業療法のキャッチフレーズを考えよう！」	吉田
7月18日	13	地域社会における作業療法士の役割②	ケーススタディー(2) グループワーク「もし磯●波●が脳卒中を発症したら？①」	吉田
7月18日	14	地域社会における作業療法士の役割③	ケーススタディー(3) グループワーク「もし磯●波●が脳卒中を発症したら？②」	吉田
7月23日	15	地域社会における作業療法士の役割④	発表・提出 「作業療法だけの専門性・特徴は？(職能理解)」	吉田
教科書・参考書				
授業に必要な物				
備考				

【科目名】	作業療法概論Ⅰ	専門分野(3単位)	【講師名】 川崎加奈(作業療法士):医療機関にて18年実務経験 橋本円(作業療法士)医療機関にて16年実務経験 橋内駿(作業療法士)医療機関にて9年実務経験				
【講義期間】	1 年次前期		【対象学生】 第 1 学年 作業療法学科				
【時間数】	60 時間 (2 時間 30 回)		【時間帯】 : ~ : (他時間割参照)				
授業内容・目標	専門職としての作業療法の理念、知識や技術について概略的に理解する。 資格取得のために習得する事柄と、そのために必要な事項の概略が理解できる。 レポート作成を通して、文章の理解力・構成力を身につける。						
前提知識							
【実施形態】	講義(○)		演習(○)		実習()		
到達目標	作業療法における、理念や概要、基礎知識を習得する						
成績評価基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)	10	50		30	10	
	実施時期						
	補足						
	関心・意欲	○	○		○	○	
	知識・理解	○	○		○	○	
	思考・推論	○	○		○	○	
実践・表現	○	○		○	○		
授業計画							
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード				講師
4月10日	1	「作業」の意味	作業療法の定義、医療とリハビリテーションの理念、作業療法における「作業」、作業療法の対象、ADLとIADL				橋本
4月10日	2	作業療法の歴史	作業療法の起源、作業療法の誕生、日本における作業療法の歴史				橋本
4月15日	3	レポートの書き方	レポート作成について(PC持参)				橋本
4月17日	4	作業療法の原理	人間の本質、人道療法の理念、作業療法の意義				橋本
4月18日	5	作業療法に関連する予備知識	人間とその理解、病氣と障害の理解(ICFとICIDH)、コミュニケーションスキル				橋本
4月21日	6	海洋リハビリテーション研修ー1	琉球リハビリテーション学院施設見学・講演会				橋内
4月21日	7	海洋リハビリテーション研修ー1	琉球リハビリテーション学院施設見学・講演会				橋内
4月22日	8	海洋リハビリテーション研修ー2	マリンプログラム等体験を通して作業療法について考える①				橋内
4月22日	9	海洋リハビリテーション研修ー2	マリンプログラム等体験を通して作業療法について考える①				橋内
4月23日	10	海洋リハビリテーション研修ー3	マリンプログラム等体験を通して作業療法について考える②				橋内
4月24日	11	海洋リハビリテーション研修ー3	マリンプログラム等体験を通して作業療法について考える②				橋内
5月1日	12	作業療法の実践現場	作業療法の実践現場とは(医療、介護や福祉、療育や教育、行政や司法)				橋本
5月8日	13	作業療法の実際(領域別・1)	事例からの学び(領域別・1)				橋本
5月13日	14	作業療法の実際(領域別・2)	事例からの学び(領域別・2)				橋本
5月16日	15	作業療法に求められる資質と倫理	医療倫理・作業療法士に求められる資質と適性・社会人基礎力とは				橋本
5月21日	16	作業療法の実践過程①	作業療法の仕組み(作業療法士の業務、主訴とは、評価と治療について)				橋本
5月22日	17	作業療法の実践過程②	評価と問題点の抽出(情報収集と評価、目標設定について)				橋本
5月26日	18	日本作業療法士協会 世界作業療法士連盟とその役割	JAOTの設立と役割、職能団体としての役割、学術研究団体としての役割 WFOTの成り立ちと役割				橋本
5月29日	19	作業療法の実際(領域別・3)	事例からの学び(領域別・3)				橋本
6月3日	20	作業療法の実際(領域別・4)	事例からの学び(領域別・4)				橋本
6月16日	21	レクリエーションの企画、準備、練習	OTが行うレクリエーションの意味を考え、企画する				川崎
6月17日	22	レクリエーションの準備、練習	レクリエーションに使用する物品や環境を準備、練習する、物品管理をする				川崎
6月24日	23	レクリエーションの準備、練習、リハーサル	レクリエーションに使用する物品や環境を準備、練習する、物品管理をする				川崎
6月25日	24	レクリエーション発表	対象者に対してレクを実施・発表する				川崎
6月25日	25	レクリエーション発表	対象者に対してレクを実施・発表する				川崎
6月30日	26	施設見学の準備と対策	見学施設調べ学習、介護保険領域の作業療法、マナー、感染予防など				川崎
7月2日	27	作業療法治療場面の実際①	実際の治療場面から学ぶ				川崎
7月2日	28	作業療法治療場面の実際②	実際の治療場面から学ぶ				川崎
7月16日	29	施設見学の準備と対策	見学施設調べ学習、介護保険領域の作業療法、マナー、感染予防など				川崎
7月16日	30	施設見学の準備と対策	見学施設調べ学習、介護保険領域の作業療法、マナー、感染予防など				川崎
7月25日	31	まとめと評価	講義内容についての知識確認				川崎
教科書・参考書	教科書:標準作業療法学・作業療法概論 第4版 能登真一(編) 医学書院						
授業に必要な物	必要に応じて連絡。準備担当者は事前に確認してください。 授業中に振り返りを行うことがあるため、2回目以降の講義では、前回までの資料も持参してください。						
備考	海洋リハビリテーション研修では、医療学生にふさわしい態度、身だしなみで臨むこと。						

【科目名】	基礎作業学演習Ⅰ	専門分野(1単位)	【講師名】 橋本円(作業療法士):医療機関にて16年実務経験 橋内駿(作業療法士):医療機関にて9年実務経験				
【講義期間】	1年次前期		【対象学生】 第 1 学年 作業療法学科				
【時間数】	30時間 (2時間 15回)		【時間帯】 : ~ : (他時間割参照)				
授業 内容・目標	作業の備えている特性、人・対象者と作業の関係性を経験を通して理解し、説明できるようになる。						
前提知識							
【実施形態】	講義() 演習(○) 実習()						
到達目標	作業の素材・工程・用具と、実施のための安全管理を理解する。作業の備えている特性を理解し、説明できるようになる。						
成績評価 基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)				100		
	実施時期				随時		
	補足				各作業のレポート		
	関心・意欲	○			○		
	知識・理解	○			○		
	思考・推論				○		
	実践・表現	○			○		

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
3月8日	1	マクラメ①	マクラメの概要、ミサンガ編み	橋内
4月11日	2	マクラメ②	コースター(1)編み込み	橋内
4月18日	3	マクラメ③	コースター(2)編み込み、仕上げ	橋内
5月1日	4	寄木細工①	寄木細工の概要、コースター作成	橋内
5月8日	5	寄木細工②	デザイン考案、接着	橋内
5月15日	6	寄木細工③	やすり掛け等 仕上げ	橋内
5月22日	7	ブロック折り紙①	ブロック折り紙の概要、作品作り(1)	橋内
6月5日	8	ブロック折り紙②	作品作り(2)	橋内
6月12日	9	ブロック折り紙③	作品作り(3)	橋内
6月18日	10	革細工①	革細工の概要、しおり作成(スタンピング、染色、レザーコート)	橋本
6月19日	11	革細工②	小物入れ(1) デザイン考案、トレース、カット	橋本
6月23日	12	革細工③	小物入れ(2) スーベルカッター、モデリング、スタンピング	橋本
7月3日	13	革細工④	小物入れ(3) 染色、レザーコート、ホック打ち	橋本
7月10日	14	革細工⑤	小物入れ(4) 穴あけ、レースかがり	橋本
7月10日	15	革細工⑥	小物入れ(5) 仕上げ	橋本
教科書 参考書	必要に応じて授業資料配布。			
授業に必要な物	必要に応じて連絡。準備担当者をはじめ、各自事前に確認をすること。			
備考	時間を守る、連絡を怠らないなど、基本的な振る舞いの上に技術が成り立つことををふまえ、取り組むこと。 作業に適した、動きやすい服装で参加すること。			

【科目名】	基礎作業学演習Ⅱ	専門分野(2単位)	【講師名】 紀国谷真広先生 沢田泉紀(作業療法士):医療機関にて12年実務経験 橋内駿(作業療法士):医療機関にて8年実務経験				
【講義期間】	1年次後期		【対象学生】第 1 学年 作業療法学科				
【時間数】	60時間 (2時間 30回)		【時間帯】 9:00 ~ 10:30 (他時間割参照)				
授業内容・目標	作業の素材・工程・用具と、実施のための安全管理を理解できる。人・対象者と作業の関係性を経験を通して理解し、説明できるようになる。						
前提知識	作業の備えている特性。						
【実施形態】	講義() 演習(○) 実習()						
到達目標	実践を通して、作業計画の重要性、応用力の重要性を学ぶとともに、対象者に合わせた援助方法を学ぶ。 新たな作業およびレクリエーションの特性について学ぶ。						
成績評価基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)	40			50	10	
	実施時期	平時			当科目終了時	当科目終了時	
	補足	施設での実習を含む			各レポート・作品		
	関心・意欲	○				○	
	知識・理解				○	○	
	思考・推論	○			○	○	
	実践・表現	○			○	○	

授業計画				
月付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
	1	作業実習①	作業実習の概要説明・作品の制作計画 花紙ちぎり絵制作と作業分析	沢田
	2	作業実習②	対象者に合わせた援助方法の検討・制作準備	沢田
	3	作業実習③	作業実習のロールプレイ・援助方法の再検討・作業実習準備	沢田
	4	デジリハ	デジリハ体験	沢田
	5	デジリハ	デジリハ体験	沢田
	6	作業実習④	施設での作業実習<リズムタウン仙台>1	沢田
	7	作業実習⑤	施設での作業実習<リズムタウン仙台>2	沢田
	8	陶芸①	やきもの(陶磁器)の概要(分類、土練り、成形方法)	紀国谷真広先生
	9	陶芸②	土練り	紀国谷真広先生
	10	作業実習⑥	施設での作業実習<リズムタウン仙台>3	沢田
	11	作業実習⑦	施設での作業実習<リズムタウン仙台>4	沢田
	12	作業実習⑧	作業実習の振り返り・発表	沢田
	13	作業実習⑨	作業実習のまとめ・発表	沢田
	14	陶芸③	形成(削り、装飾含む)	紀国谷真広先生
	15	陶芸④	素焼き	紀国谷真広先生
	16	陶芸⑤	下絵付け	紀国谷真広先生
	17	陶芸⑥	本焼き	紀国谷真広先生
	18	陶芸⑦	上絵付け	紀国谷真広先生
	19	陶芸⑧	焼成	紀国谷真広先生
	20	レクリエーション実習①	概要説明・計画立案	橋内
	21	レクリエーション実習②	レクリエーション準備(制作・練習)1	橋内
	22	レクリエーション実習③	レクリエーション準備(制作・練習)2	橋内
	21	レクリエーション実習④	レクリエーション準備(制作・練習)3	橋内
	22	レクリエーション実習⑤	レクリエーション・クラス内発表	橋内
	25	レクリエーション実習⑥	レクリエーション準備(練習・調整)	橋内
	26	レクリエーション実習⑦	施設レクリエーション<リズムタウン仙台>1	橋内
	27	レクリエーション実習⑧	施設レクリエーション<リズムタウン仙台>2	橋内
	28	レクリエーション実習⑨	施設レクリエーション<リズムタウン仙台>3	橋内
	29	レクリエーション実習⑩	施設レクリエーション<リズムタウン仙台>4	橋内
	30	レクリエーション実習⑪	施設レクリエーションの発表準備・発表	橋内
教科書 参考書	配布資料			
授業に必要な物	必要に応じて連絡。準備担当者は事前に確認をすること。			
備考	陶芸:週番は12:30に準備物を講師に確認しクラスに伝達。5分前には全員着席すること。			

【科目名】	筋骨格測定法Ⅰ	専門分野(2単位)	【講師名】 吉田翔太(作業療法士):医療機関にて14年実務経験				
【講義期間】	1年次前期		【対象学生】第 1 学年 作業療法学科				
【時間数】	45時間 (2時間 23回)		【時間帯】 : ~ : (他時間割参照)				
授業内容・目標	人体の骨・関節の知識を深めながら関節可動域測定 of 技術を習得する 意識状態の評価およびバイタルサインの意味と測定方法を習得する						
前提知識	ぬりえで学ぶヒトのからだで学んだ知識						
【実施形態】	講義() 演習() 実習(○)						
到達目標	関節可動域、意識状態、およびバイタルサインの知識・測定技術の習得						
成績評価基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)		50	50			
	実施時期		24回	15-16回、22-23回			
	補足			ROM、バイタル			
	関心・意欲	○		○			
	知識・理解	○	○	○			
	思考・推論	○	○	○			
	実践・表現	○		○			

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
4月14日	1	意識・バイタルサイン①	意識障害、意識の評価(JCS、GCS)	吉田
4月15日	2	意識・バイタルサイン②	バイタルサイン、バイタルサインの評価	吉田
5月2日	3	意識・バイタルサイン③	意識の評価 実技	吉田
5月2日	補講	意識・バイタルサイン④	バイタルサインの評価(血圧測定・脈拍・呼吸数) 実技	吉田
5月12日	補講	意識・バイタルサイン⑤	意識・バイタルサインの評価 総復習	吉田
5月13日	4	関節可動域測定の基礎	意義、目的、関節運動の表現、測定のポイント・流れなど	吉田
5月19日	5	骨触診①	骨触診の基本(姿勢、面、姿勢、触診の指の当て方)、肩甲骨、鎖骨	吉田
5月20日	6	骨触診②	上肢(上腕骨、尺骨、橈骨)上肢(手根骨、中手骨、指骨)	吉田
5月20日	7	骨触診③	下肢(骨盤と股関節)下肢(膝関節と足関節)	吉田
5月23日	8	関節可動域測定 上肢①	肩関節(屈曲・伸展、外転・内転)	吉田
5月26日	9	関節可動域測定 上肢②	肩関節(外旋・内旋、水平屈曲・水平伸展)	吉田
5月27日	10	関節可動域測定 上肢③	肘関節(屈曲・伸展)、前腕(回内・回外)	吉田
5月27日	11	関節可動域測定 上肢④	手関節(背屈・掌屈、橈屈・尺屈)、母指(橈側外転、掌側外転)	吉田
5月30日	12	関節可動域測定 肩甲骨	肩甲骨(屈曲・伸展、拳上・下制)	吉田
5月30日	13	関節可動域測定 上肢⑤	母指(屈曲・伸展)、手指(屈曲・伸展、外転・内転)	吉田
5月31日	14	骨指標・関節可動域測定 確認試験Ⅰ	肩甲骨・上肢に関する骨指標および関節可動域測定	吉田
6月10日	15	意識・バイタルサイン 実技試験	健康人に対する意識・バイタルサインの評価技術の確認	OT教員
6月10日	16	意識・バイタルサイン 実技試験	健康人に対する意識・バイタルサインの評価技術の確認	OT教員
6月13日	17	関節可動域測定 下肢①	股関節(屈曲・伸展、SLR、外旋・内旋、外転・内転)	吉田
6月16日	18	関節可動域測定 下肢②	膝関節(屈曲・伸展)	吉田
6月20日	補講	関節可動域測定 下肢③	足関節(底屈・背屈、外がえし・内がえし、外転・内転)	吉田
6月23日	19	関節可動域測定 頭部・体幹①	頭部(屈曲・伸展、側屈、回旋)	吉田
6月24日	20	関節可動域測定 頭部・体幹②	体幹(屈曲・伸展、側屈、回旋)	吉田
6月27日	補講	関節可動域測定 頭部・体幹③	頭部・体幹総復習	吉田
7月4日	21	骨指標・関節可動域測定 確認試験Ⅱ	下肢、頭部・体幹に関する骨指標および関節可動域測定	吉田
7月7日	補講	ROM実技 総復習	検査肢位・基本軸・移動軸の確認、実技試験の流れを確認	吉田
7月15日	22	関節可動域測定 実技試験	健康人に対する関節可動域測定技術の確認	OT教員
7月15日	23	関節可動域測定 実技試験	健康人に対する関節可動域測定技術の確認	OT教員
7月22日	24	まとめと評価	ROM、バイタル、意識状態	吉田
教科書 参考書	標準作業療法「作業療法評価学」第4版、標準理学療法・作業療法学 解剖学 ROM測定法～代償運動のとりえ方と制御法の理解と実践～			
授業に必要な物	必要に応じて連絡。準備担当者をはじめ、各自、事前に確認をすること。			
備考	時間を守るなど、基本的な振る舞いの上に技術が成り立つことを踏まえ、取り組むこと。実技には適した動きやすい服装で参加すること(ジャージなど)。			

【科目名】	筋骨格測定法Ⅱ	専門分野(2単位)	【講師名】 橋本円(作業療法士):医療機関にて15年実務経験 沢田泉紀(作業療法士):医療機関にて12年実務経験				
【講義期間】	1年次後期		【対象学生】第 1 学年 作業療法学科				
【時間数】	60 時間 (2時間 30回)		【時間帯】 9:00 ~ 10:30 (他時間割参照)				
授業 内容・目標	形態計測、徒手筋力測定法の原則を理解する。また、それらの手技を安全に実施することができるよう知識と方法を習得する。						
前提知識	動作や身体構造を理解するための解剖学(骨・筋)に関する基礎知識。						
【実施形態】	講義() 演習(○) 実習()						
到達目標	骨指標を理解し、的確に触診できる。 安全に配慮し、対象者に適切な指示を与えることが出来る。 適切に筋力測定を行い、結果を報告することが出来る。						
成績評価 基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)		40	60			
	実施時期		当科目終了時	当科目終了時			
	補足						
	関心・意欲	○		○			
	知識・理解		○	○			
	思考・推論		○	○			
	実践・表現	○		○			

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
	1	形態計測 ①	形態計測の基本・原則、実践例	橋本
	2	形態計測 ②	四肢周径(計測と記録、報告)	橋本
	3	形態計測 ③	四肢長(計測と記録、報告)	橋本
	4	形態計測 ④	四肢長(計測と記録、報告) 実技確認テスト	橋本
	5	筋力とは<徒手筋力検査法を中心に>	MMTの原理原則について、肩関節(屈曲)	沢田
	6	徒手筋力検査法 <上肢1>	肩甲帯 (外転、上方回旋)	沢田
	7	徒手筋力検査法 <上肢2>	肩甲帯 (拳上、内転)	沢田
	8	徒手筋力検査法 <上肢3>	肩甲帯 (下制、内転と下方回旋)	沢田
	9	徒手筋力検査法 <上肢4>	肩関節 (伸展、外転)	沢田
	10	徒手筋力検査法 <上肢5>	肩関節 (水平外転、水平内転)	沢田
	11	徒手筋力検査法 <上肢6>	肩関節 (外旋、内旋)	沢田
	12	徒手筋力検査法 <上肢7>	肘関節 (屈曲、伸展) 前腕 (回内、回外)	沢田
	13	徒手筋力検査法 <上肢8>	手関節 (屈曲、伸展) 手指①	沢田
	14	徒手筋力検査法 <上肢9>	手指②	沢田
	15	<MMT上肢>まとめ	確認小テスト③(MMT上肢:主動作筋、支配神経、代償動作)	沢田
	16	徒手筋力検査法 <下肢1>	股関節 (屈曲、伸展)	橋本
	17	徒手筋力検査法 <下肢2>	股関節 (外転、内転)	橋本
	18	徒手筋力検査法 <下肢3>	股関節 (外旋、内旋)	橋本
	19	徒手筋力検査法 <下肢4>	膝関節 (屈曲、伸展)	橋本
	20	徒手筋力検査法 <下肢5>	足関節 (底屈、背屈)	橋本
	21	徒手筋力検査法 <下肢6>	足関節 (内返し、外がえし)	橋本
	22	<MMT下肢>まとめ	確認小テスト(MMT下肢:主動作筋、神経支配、代償動作)	沢田
	23	徒手筋力検査法 <頸部・体幹1>	頭頸部 (伸展、屈曲)	沢田
	24	徒手筋力検査法 <頸部・体幹2>	体幹 (伸展、骨盤挙上)	沢田
	25	徒手筋力検査法 <頸部・体幹3>	体幹 (屈曲、回旋)	沢田
	26	<MMT頸部・体幹>まとめ	確認小テスト(MMT頸部体幹:主動作筋、神経支配、代償動作)	沢田
	27	徒手筋力検査法 ~総復習①~	実技 総復習	沢田
	28	徒手筋力検査法 ~総復習②~	実技 総復習	沢田
	29	MMT 実技試験	実技試験	OT教員
	30	MMT 実技試験	実技試験	OT教員
	31	まとめと評価	形態計測・MMTの原則、手順・方法の確認	沢田
教科書 参考書	新・徒手筋力検査法 機能解剖学的触診技術、標準理学療法学・作業療法学「解剖学」、標準作業療法学「作業療法評価法」			
授業に必要な物	動きやすく、皮膚や骨が触診しやすい服装を各自準備。 形態計測ではメジャーを持参すること。			
備考	実技中心の授業になるので、毎回動きやすい服装を準備すること。			

【科目名】	日常生活援助技術Ⅰ	専門分野(2単位)	【講師名】吉田翔太(作業療法士):医療機関にて14年実務経験 橋内駿(作業療法士):医療機関にて9年実務経験				
【講義期間】	1年次後期	【対象学生】第 1 学年 作業療法学科					
【時間数】	30時間 (2時間 15回)	【時間帯】	: ~ : (他時間割参照)				
授業 内容・目標	起居動作・日常生活動作を理解し、介助方法を学ぶ。						
前提知識	動作や身体構造を理解するための解剖学に関する基礎知識。 起居動作や日常生活動作に関する項目の基礎知識						
【実施形態】	講義(○)	演習()	実習()				
到達目標	ひとの生活と日常生活活動について理解する。 起居動作、ADLの動作方法や援助技術を理解する。						
成績評価 基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)		50	50			
	実施時期		当科目終了時	当科目終了時			
	補足						
	関心・意欲			○			
	知識・理解		○	○			
	思考・推論		○	○			
	実践・表現			○			

授業計画				
回	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
1	1	日常生活活動総論	起居移乗動作、日常生活活動動作についての基礎知識,FIM,BI	吉田
2	2	起居動作援助技術①	寝返り・起き上がり動作の援助方法①	吉田
3	3	起居動作援助技術②	寝返り・起き上がり動作の援助方法②	吉田
4	4	起居動作援助技術③	立ち上がり・移乗動作の援助方法①	吉田
5	5	起居動作援助技術④	立ち上がり・移乗動作の援助方法②	吉田
6	6	日常生活援助技術①	車椅子についての基礎知識、車椅子の援助方法	吉田
7	7	日常生活援助技術②	杖についての基礎知識、杖歩行の援助方法	吉田
8	8	日常生活援助技術③	食事・整容動作の援助方法	橋内
9	9	日常生活援助技術④	トイレ・入浴動作の援助方法	橋内
10	10	日常生活援助技術⑤	更衣動作の援助方法	橋内
11	11	日常生活援助技術⑥	車椅子からベッドへの移動動作の援助方法	吉田
12	12	総復習(実技含む)	起居動作、日常生活活動援助技術についての総復習	吉田
13	13	総復習(実技含む)	起居動作、日常生活活動援助技術についての総復習	吉田
14	14	OSCE実技試験	ベッドから車椅子への移乗動作援助	橋内
15	15	OSCE実技試験	ベッドから車椅子への移乗動作援助	橋内
16	16	まとめと評価	起居動作や日常生活活動動作が理解できる。 各動作の援助方法を実践できる。	吉田
教科書 参考書	標準作業療法学 日常生活活動・社会生活行動学、動作分析 臨床活用講座			
授業に必要な物	PC, プロジェクター			
備考	実技を行うため、服装はジャージを着用し身だしなみを整えること。			

【科目名】	地域リハビリテーション実習	専門分野(1単位)	【講師名】 川崎加奈(作業療法士):医療機関にて18年実務経験 各施設実習指導者				
【講義期間】	1年次 前期		【対象学生 第 1学年 作業療法学科				
【時間数】	45時間 (2時間 23回)		【時間帯】				
授業 内容・目標	見学を通して、医療従事者としての態度を学び、地域における施設および作業療法の役割を理解する。						
前提知識	作業療法概論、ADLの基礎知識						
【実施形態】	講義()		演習()		実習(○)		
到達目標	見学を通して、医療従事者としての態度を学び、地域における施設および作業療法の役割を理解する 作業療法士の地域における役割を理解する						
成績評価 基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)	実習前・後評価および臨床実習における評価報告書 総評等に基づく					
	実施時期						
	補足						
	関心・意欲	○			○	○	
	知識・理解	○			○	○	
	思考・推論	○			○	○	
	実践・表現	○			○	○	

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
8月25日	1	実習前評価	実習対策・予習	川崎
8月26日	2	実習前評価	実習対策・予習	川崎
9/1～9/5 または 9/8～9/12	3	見学実習	各施設担当者の指示のもと、対象者の実生活場面に直に触れ、 地域における作業療法士の役割および 関連他職種の方々との関わり等を体験する。	川崎
	4			
	5			
	6			
	7			
	8			
	9			
	10			
	11			
	12			
	13			
	14			
	15			
	16			
	17			
	18			
	19			
	20			
	21			
	22			
9月16日	補講	見学実習 振り返り	各施設で学んだことの振り返り	川崎
9月17日	補講	見学実習 振り返り	各施設で学んだことの振り返り	川崎
9月18日	23	まとめと評価(実習後評価)	各施設で学んだことの振り返り	川崎
9月19日	補講	見学実習 振り返り	各施設で学んだことの振り返り	川崎
教科書 参考書	なし 参考図書:ADLとその周辺ー評価・指導・介護の実際 医学書院			
授業に必要な物	必要に応じて連絡。準備担当者をはじめ、各自事前に確認をすること。			
備考	時間を守る、連絡を怠らないなど、基本的な振る舞いの上に技術が成り立つことをふまえ、取り組むこと。 医療人を目指す学生として適切な身だしなみに各自整えること。			